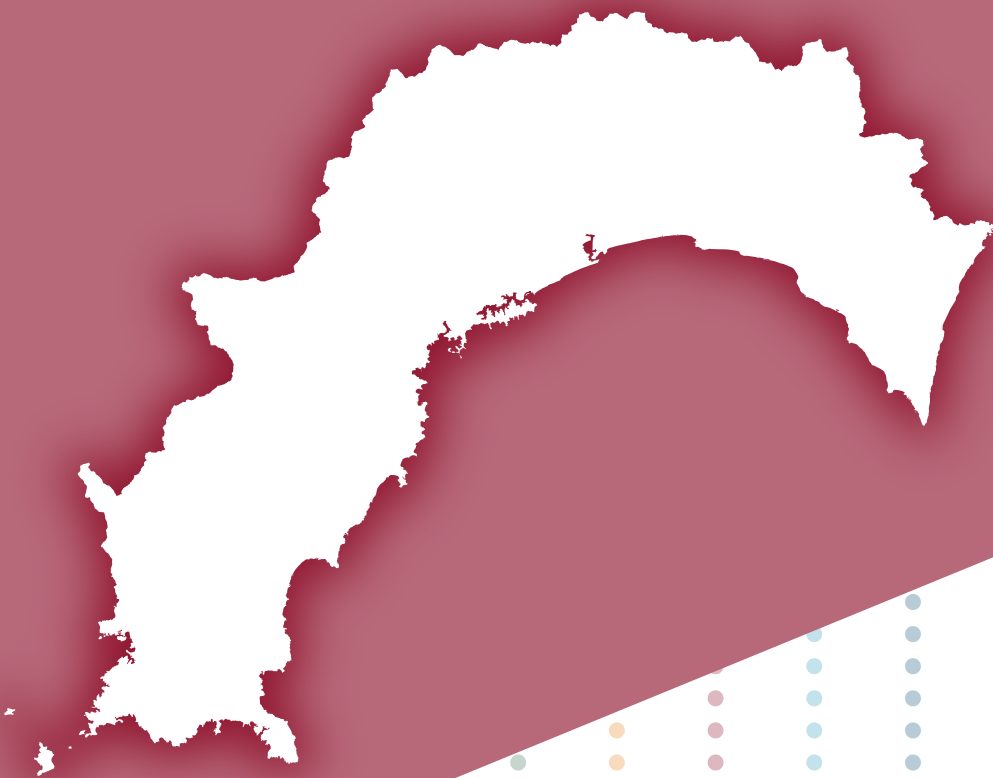


高知県 新広域道路交通ビジョン



2021年3月版



はじめに

平成 30 年 3 月 30 日に成立、同月 31 日に公布された「道路法等の一部を改正する法律」（平成 30 年法律第 6 号）により、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が物流上重要な道路輸送網を指定する「重要物流道路制度」が創設されました。

これらの社会情勢の変化、新たな社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化や、ICT・自動運転等の技術の進展を踏まえ、今後の四国地方の道路のあり方について、「広域道路ネットワーク」、「交通・防災拠点」、「ICT 交通マネジメント」を柱とする高知県新広域道路交通ビジョンを策定しました。

今後、高知県新広域道路交通ビジョンを踏まえ、新たに策定される高知県新広域道路 交通計画に基づき、高知県の道づくりを推進していきます。



目次



第1章 高知県の将来像

1. 高知県の現状

(1) 人口の現状	1
(2) 産業活動の現状	4
(3) 交通の現状	6
(4) 物流の現状	8
(5) 観光の現状	11
(6) 災害の現状	13

2. 高知県の将来像

(1) 四国地方の将来像	16
(2) 高知県が目指す将来像	18

第2章 高知県の交通課題と既存の取組

1. 高知県の交通課題	19
2. 高知県における主な取組	27

第3章 高知県の広域的な道路交通の基本方針

1. 産業振興に向けて生産性を高める	37
2. 観光振興に向けて利便性を高める	40
3. 中山間地域の活力向上につなげる	43
4. 自然災害への備えを高める	44

第1章 高知県の将来像

1 高知県の現状

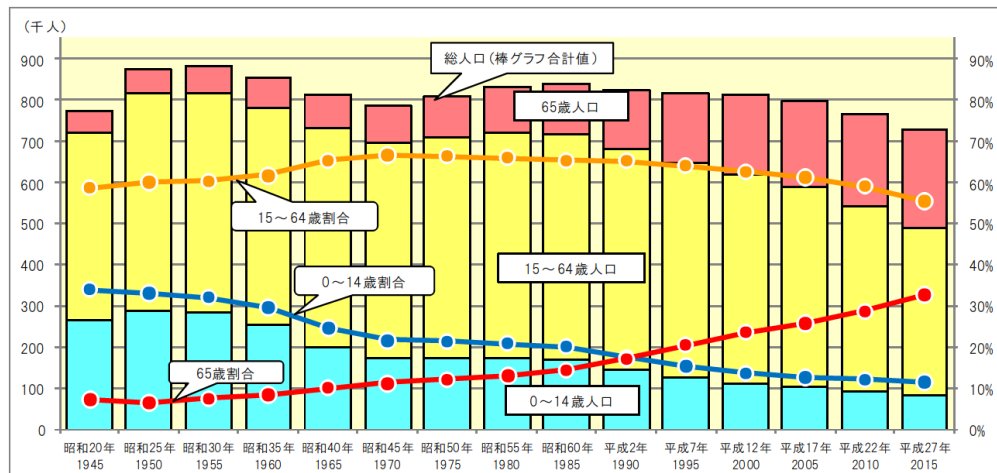
(1) 人口の現状

全国に先行する人口減少・高齢化

本県の人口は、1956年（昭和31年）の88万3千人をピークに、高度経済成長期における大都市圏への大幅な人口流出などの影響により減少を始め、1970年（昭和45年）に一旦は下げ止まり増加に転じたものの、出生数の減少などの影響により1986年（昭和61年）に再び減少に転じ、2015年（平成27年）には約72万8千人となっています。

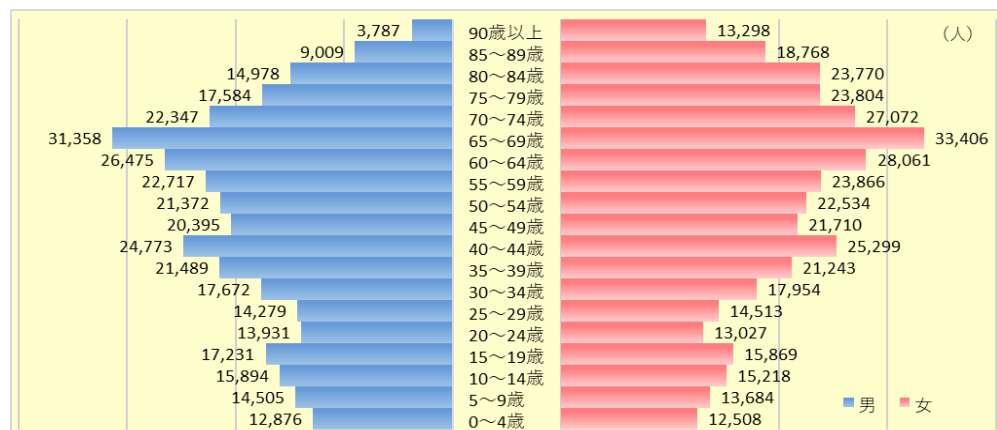
国勢調査の結果によると、0歳から14歳までの年少人口と15歳から64歳までの生産年齢人口は減少する一方で、65歳以上の老年人口は、1995年（平成7年）に初めて年少人口を上回るなど増加を続けており、高齢化率の全国との比較では、全国に10年先行しています。

【人口及び年齢3区分別人口の推移】



出典：高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成31年度版）

【高知県の人口ピラミッド（平成27年）】



出典：高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成31年度版）

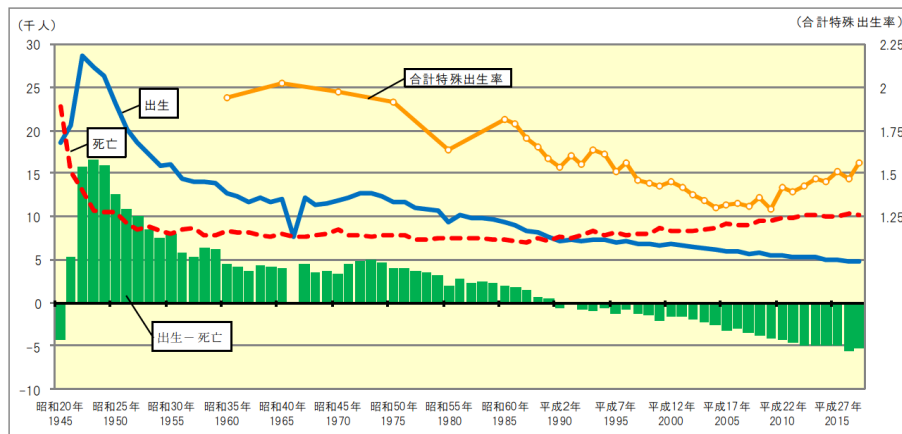
自然増減・社会増減

本県における出生数と死亡数を見ると、長らく出生数が死亡数を上回る自然増の状態が続いていましたが、1990年（平成2年）に全国の都道府県で初めて死亡数が出生数を上回る自然減となっています。全国の人口が初めて自然減となったのは2005年（平成17年）であり、高知県は全国に15年先行しています。

県外間の人口移動については、ほとんどの時期で転出者数が転入者数を上回る転出超過（社会減）の状態になっています。中でも、高度経済成長期、バブル期、リーマンショック前の時期の計3度、特に大きな転出超過が起こっています。全国的に見ても、好景気の時期に地方の転出超過が大きくなり、景気の後退時期には転出超過が収まる傾向が見られます。

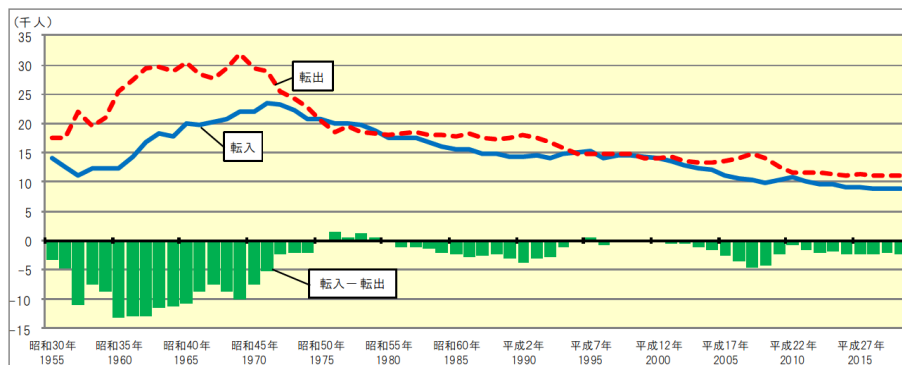
近年も、転出超過の状態は続いています。以前ほど多くはなく、社会減よりも自然減の影響の方が大きくなっています。

【自然増減と合計特殊出生率の推移】



出典：高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成31年度版）

【社会増減の推移】



出典：高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成31年度版）

広範囲に広がる中山間地域

高知県では、山間地及びその周辺の地域など地理的及び経済的に不利な地域として、地域振興に関する5つの法律（過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律）の規定範囲を中山間地域としており、県の全体面積の9割以上を占めています。

【中山間地域】



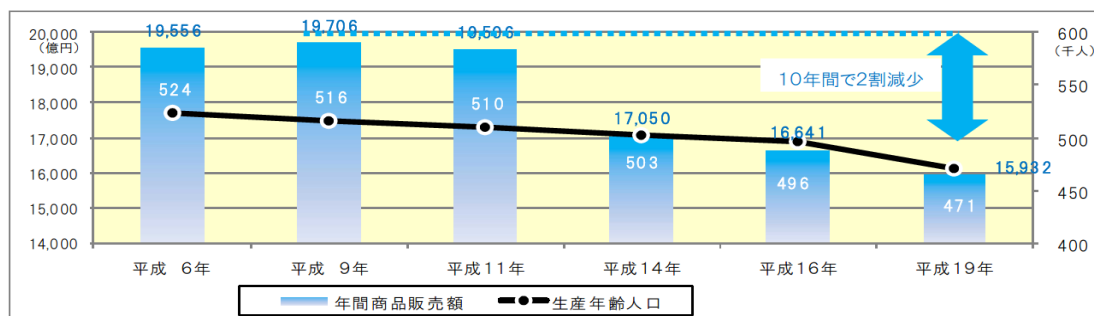
(2) 産業活動の現状

経済規模の縮小

これまでも人口減少が続く中で、物を生産し消費する生産年齢人口の減少により県経済は縮小を続けていきました。

それを端的に表すのが年間商品販売額で、平成9年のピーク時には年間約2兆円あった販売額が、10年後の平成19年には1兆6千億円と10年間で約2割減少しています。この経済の縮みが若者の県外流出を招き、特に中山間地域の衰退や少子化が進み、人口減少に拍車がかかるという負の連鎖を招いています。

【高知県の年間商品販売額と生産年齢人口の関係】

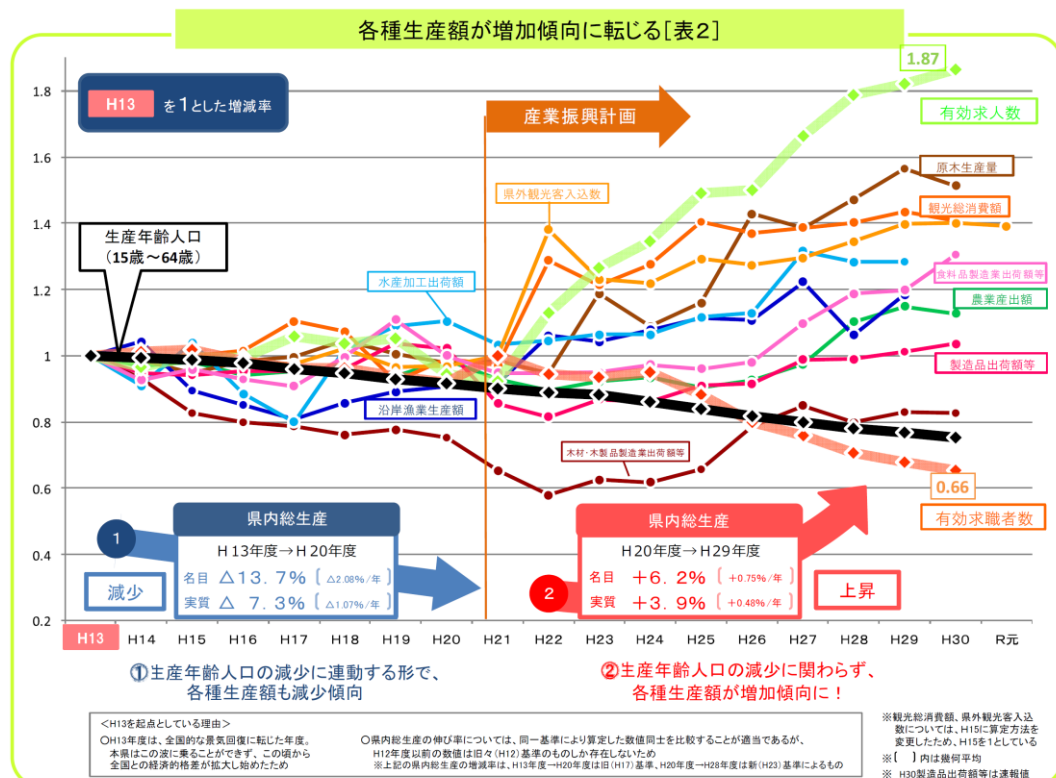


出典：高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成31年度版）

人口減少下においても拡大する経済へ

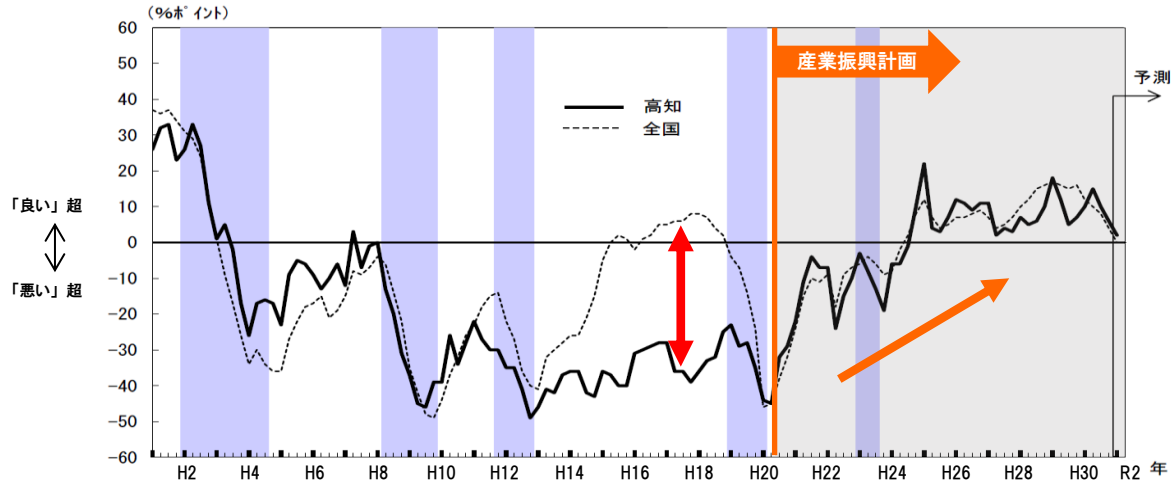
各分野で地産外商が大きく進み、高知県経済は今や人口減少下においても拡大する経済へと構造を転じつつあります。生産年齢人口が減少する中において地産外商を推進するためには、生産性の向上や担い手の確保などに取り組む必要があります。

【各種生産額等の推移】



出典：第4期高知県産業振興計画

【業況判断 D.I. (全産業) の推移】



出典：第4期高知県産業振興計画

高知県が誇る生産量日本一の農産物

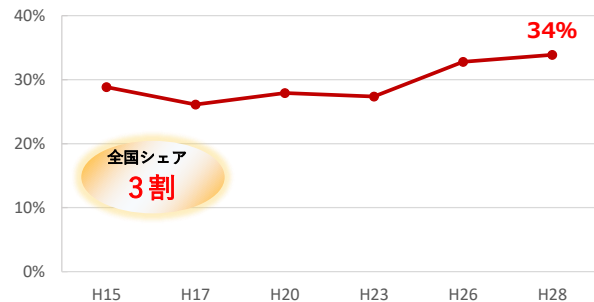
高知県には、みょうがや冬春なす、しょうがなど、全国一のシェアを誇る青果物が生産されています。

【高知県産みょうがの全国シェア】



出典：農林水産省

【高知県産冬春なすの全国シェア】

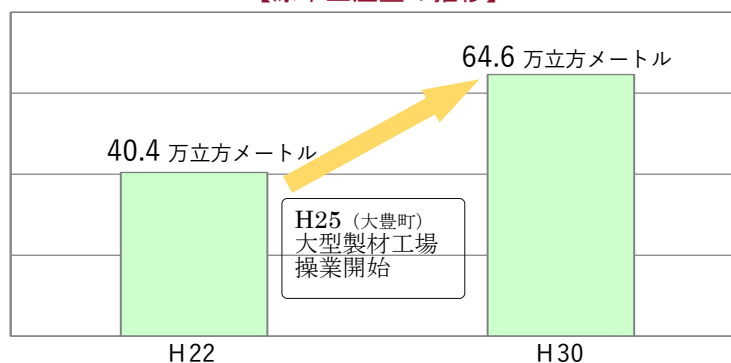


出典：農林水産省

増加する原木の生産

高知県は、県土の 84%を占める森林の豊富な資源を有しています。これを余すことなく活用し、中山間地域の活性化につなげていくため、これまでに四国最大級の製材工場を大豊町に整備し、県内各地の貯木場等から運び込まれる原木が、様々な製品に加工され県内外に出荷されています。これに加え、県では、新たな木材需要が期待される「C L T」の普及拡大などにも取り組んでおり、県内の原木需要は大きく高まり、原木生産量が増加しています。

【原木生産量の推移】

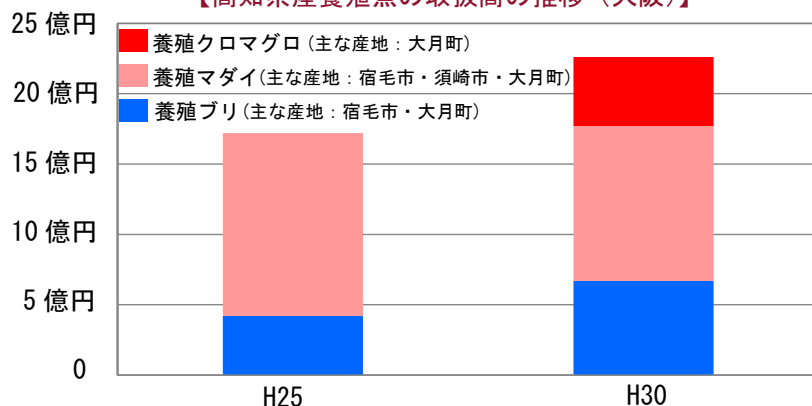


出典：高知県林業環境政策課

増加する養殖魚の取扱高

高知県西部を中心に養殖が盛んに行われており、真鯛やブリ類、クロマグロの生産量は全国でも上位となっています。そのうち、宿毛市では、養殖いけすの増設や養殖魚等の加工施設の立地、漁港の整備等による機能強化が進められています。地域の取組と高速道路の開通が相まって県外市場での取扱高が増加傾向にあります。

【高知県産養殖魚の取扱高の推移（大阪）】



▲製氷施設等の増設を進めている田ノ浦漁港（宿毛市）

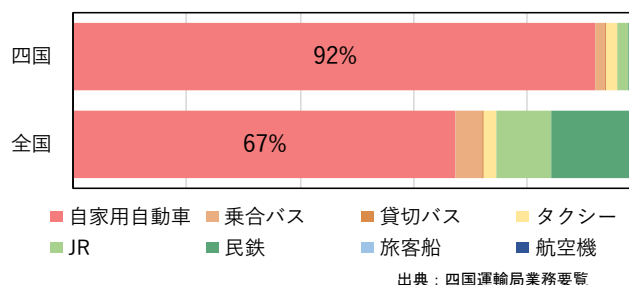
※出典：大阪府中央卸売市場 HP 公表資料及び大阪市中央卸売市場 HP 公表資料
※大阪府中央卸売市場と大阪市中央卸売市場の取扱高

（３）交通の現状

高い自家用車への依存

四国地方の旅客流動における自家用車の割合は9割を超えており、全国と比較して高い状況です。

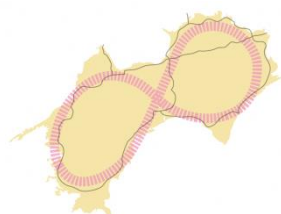
【旅客流動の交通機関割合（H21）】



四国8の字ネットワーク等の整備に伴う移動時間の短縮

四国8の字ネットワークや本州四国連絡高速道路といった高速道路をはじめとする道路整備の進展に伴い、本州～四国間の移動時間がこれまでに約6～7割短くなり、本州とのアクセス性が格段に向上しています。瀬戸大橋の全線開通前の1984年に比べ、2015年には移動する人が約2倍に増えています。

【四国8の字ネットワーク】



四国4県を8の字で結ぶ全長約810kmの高速道路ネットワーク。
四国縦貫自動車道、四国横断自動車道、高知東部自動車道、阿南芸芸自動車道により構成。

【自動車での移動時間の変化（本州と四国間）】

	開通前 フェリー利用(一般道)	開通後 本四高速利用
神戸淡路鳴門自動車道 (神戸市～徳島市)	約4時間30分 2時間50分短縮	約1時間40分
瀬戸大橋 (倉敷市～坂出市)	約2時間 1時間20分短縮	約40分
しまなみ海道 (尾道市～今治市)	約2時間40分 1時間40分短縮	約1時間

出典：本州四国連絡高速道路(株)「2014 ディスクロージャー誌」

また、高知県内でも、1987年に高知自動車道の大豊IC～南国ICが開通して以降、東部地域、西部地域への四国8の字ネットワークの延伸が着実に進められており、高知市から県西部、東部地域への移動時間も短縮されつつあります。

【自動車での移動時間の変化（高知県内）】

	1999年 (平成11年)	2015年 (平成27年)	
高知市～宿毛市	約3時間20分	約2時間20分	※高知市～宿毛市：高知県庁～宿毛市役所 1時間0分短縮
高知市～東洋町	約3時間20分	約2時間50分	※高知市～東洋町：高知県庁～東洋町役場 30分短縮

※全国道路・街路交通情勢調査 混雑時（ピーク時）旅行速度より算出

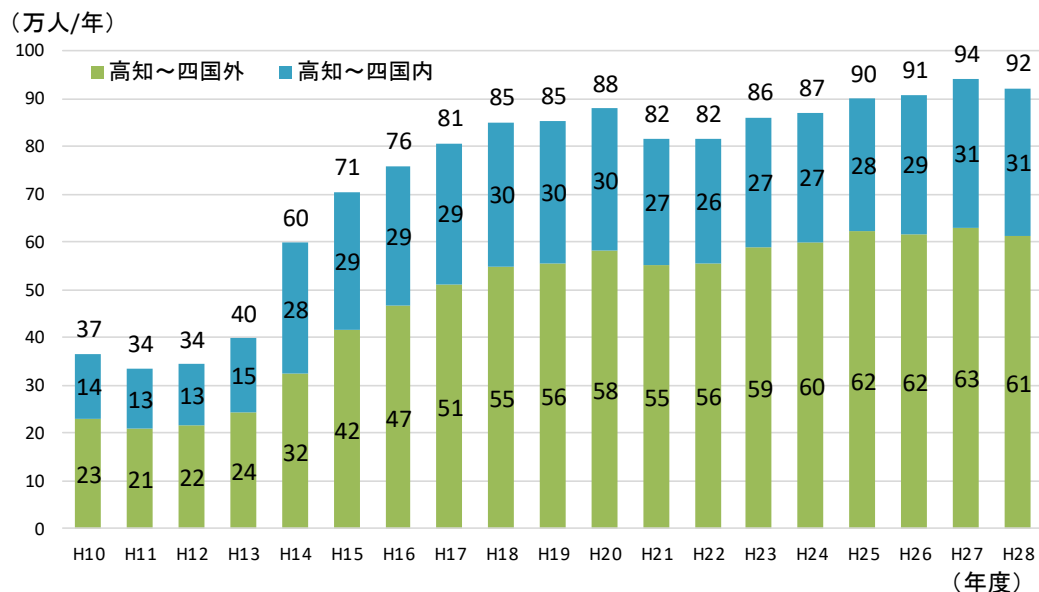
ただし、1985年は県道の旅行速度は未調査のため、1999年及び2015年の対象県道の旅行速度を平均した値を適用。

利用が増加している高速バス

四国8の字ネットワークの延伸に伴い、本州～四国、四国内の高速バスの利用者数は年々増加しています。

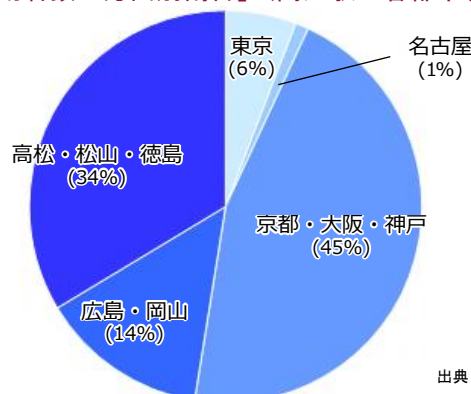
また、高知駅～各都市の利用者数は、京阪神地域が最も多くなっています。

【高速バス利用者数の推移】



出典：四国地方における運輸の動き30年（四国運輸局）

【高速バス利用者数の方面別割合】（高知駅～各都市、2017年度）



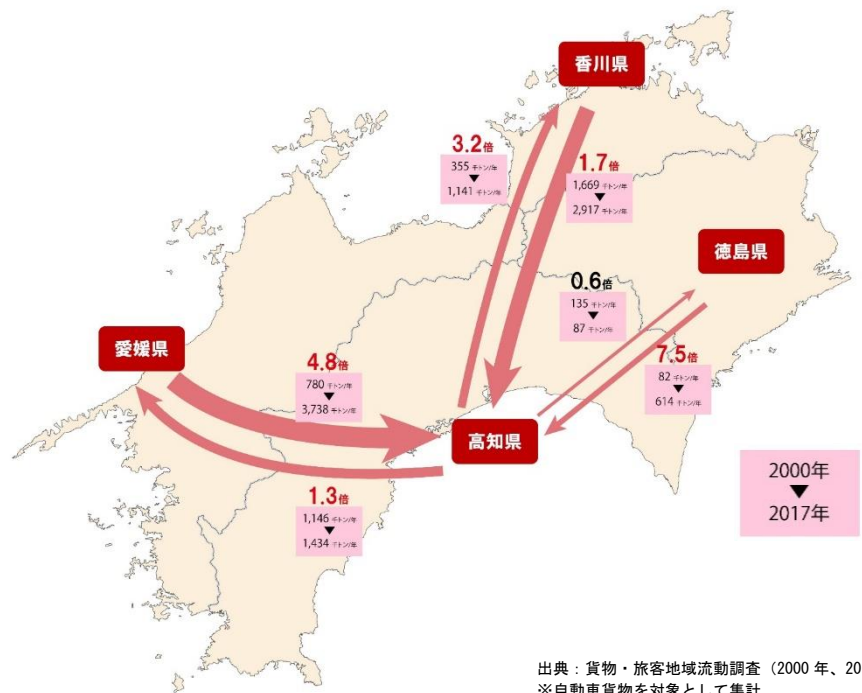
出典：高知県交通運輸政策課資料

(4) 物流の現状

増加する物流貨物

高知県を発着する四国3県との貨物流動は、2000年から2017年の間で最大で約7.5倍に増加しています。

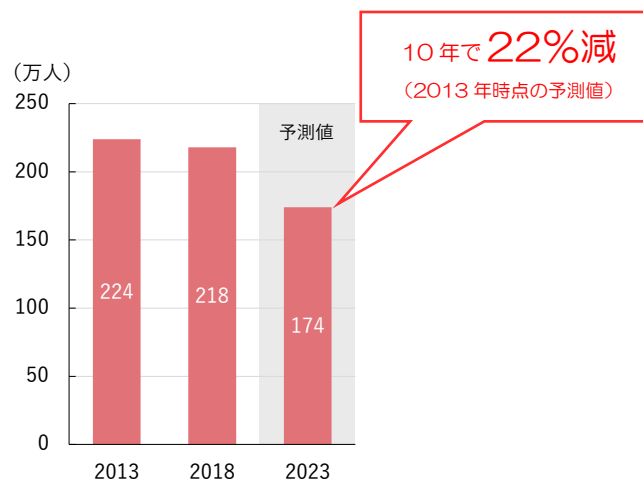
【貨物流動の状況】



想定されるドライバー不足

全国では、トラックドライバー等の輸送・機械運転に従事する就業者数が、今後、大きく減少すると予測されており、物流の効率化が求められています。

【輸送・機械運転従事者の就業者数（将来予測） 全国値】



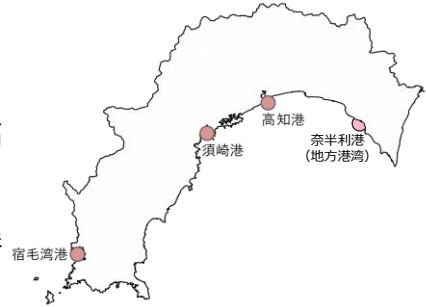
出典：自動車運転者の労働力不足の背景と見通し
(国土交通政策研究所報第56号 2015年春季 p95)

港湾物流

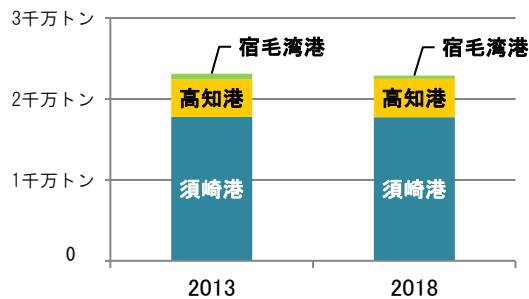
高知県には、重要港湾として高知港、須崎港、宿毛湾港の3港が立地しています。須崎港は、近隣の鉱山から改良が進められている国道494号等を利用して運ばれる石灰石やけい石を主に取り扱っており、取扱量は四国の重要港湾の中で最も多くなっています。高知港は、高知県の外資コンテナの取扱いの拠点であり、取扱量は年々増加しています。宿毛湾港は、四国と九州を結ぶ産業の支援港としての重要な役割を担っています。

また、主に砂利や砂等を取り扱っている奈半利港は、県東部地域の物流の拠点として重要な役割を担っています。

【高知県の重要港湾等】

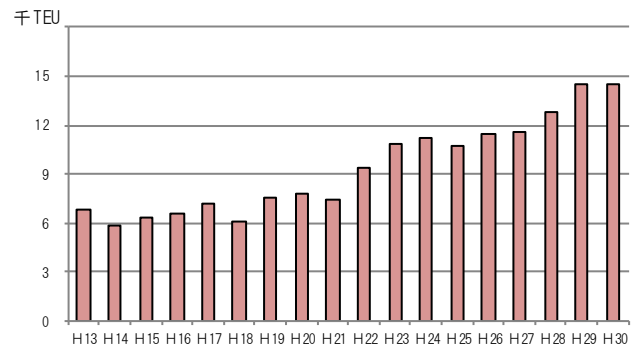


【高知県の重要港湾における貨物取扱量の推移】



出典：高知県港湾・海岸課

【高知港の外資コンテナ取扱量（輸出入計）】

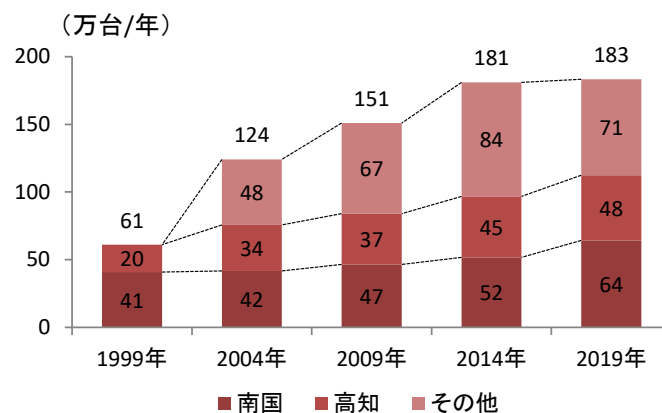


出典：高知県港湾・海岸課

高速道路を利用する大型車の増加

高速道路を利用するトラック等の大型車交通量は、四国8の字ネットワークの延伸とともに増加傾向です。物流や人流において高速道路の重要性が高まっています。

【高速道路のIC出入り交通量（大型車）】

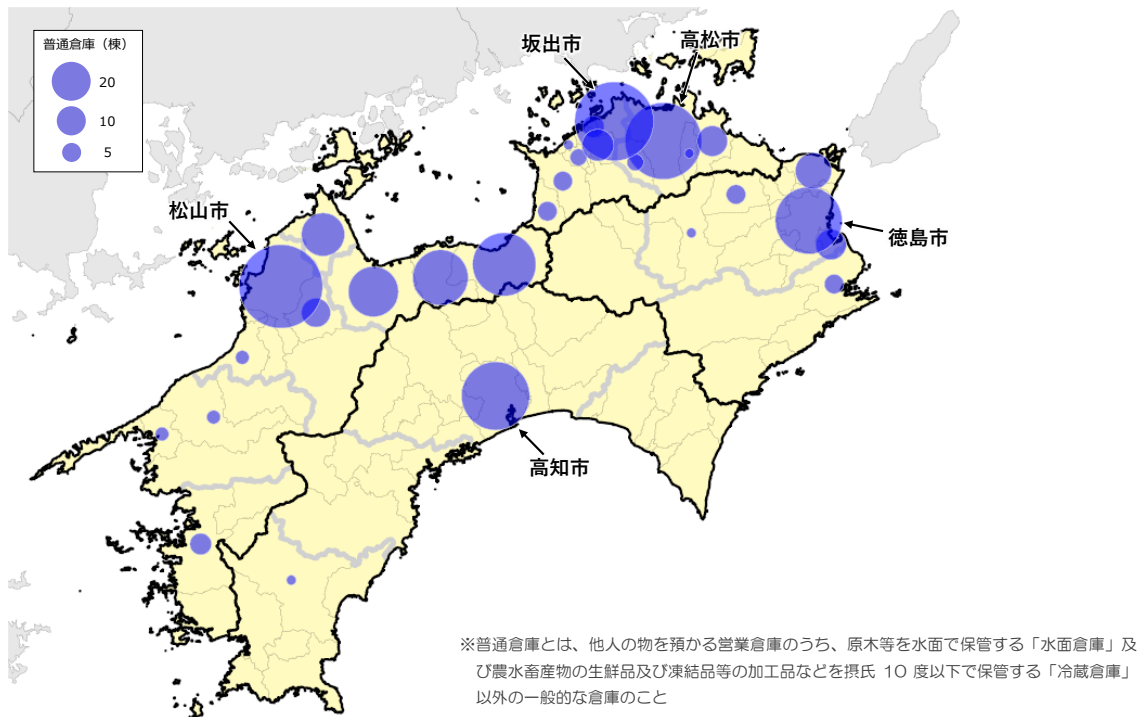


出典：西日本高速道路（株）データを元に集計

高知市内に倉庫の立地

物流に不可欠な施設の一つである倉庫は、県外や県東部、西部地域からの高速道路が交わり、重要港湾の高知港が立地するなど、本県の物流において要となっている高知市に集中しています。

【普通倉庫の立地状況】

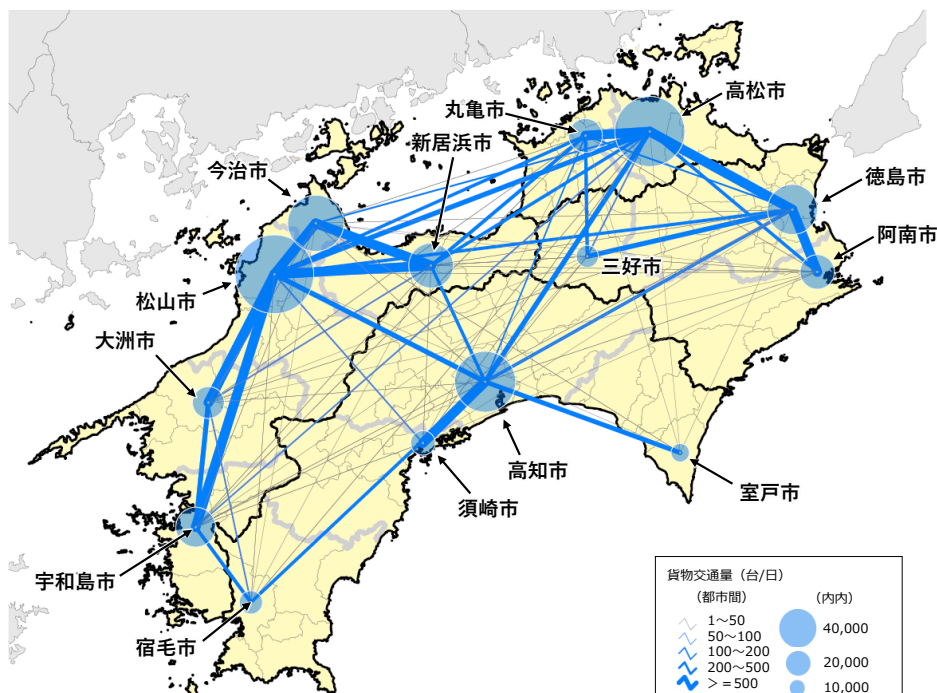


資料：四国運輸局業務要覧(2020.3時点)

高知市を中心とする貨物の流動

高知県の貨物流動は、県外や県東部、西部地域からの高速道路が交わり、重要港湾の高知港が立地するなど、本県の物流において要となっている高知市の発着が多くなっています。

【貨物車種の流動】



資料：平成 27 年度全国道路・街路交通情勢調査

(5) 観光の現状

観光資源を活かし県外観光客入込数が増加

高知県は、世界的にも有名な弘法大師縁の地を巡る四国遍路を始め、全国屈指の認知度、規模を誇る「よさこい祭り」や「桂浜」、「四万十川」、「室戸ユネスコ世界ジオパーク」など、各地に点在する数多くの自然、坂本龍馬をはじめとする幕末維新期に輩出した土佐の偉人などの歴史や伝統を物語る文化遺産に恵まれています。また、大河ドラマを契機とした観光博覧会やその後展開した観光キャンペーンの継続的な取組などにより県外観光客数が増加傾向であり、各交通機関の利用状況等から推計すると近年では400万人超えが定着してきました。



出典：四国運輸局 令和元年度四国の主要観光地入込状況について
高知県観光情報サイト よさこいネット

【高知県の主要観光施設】

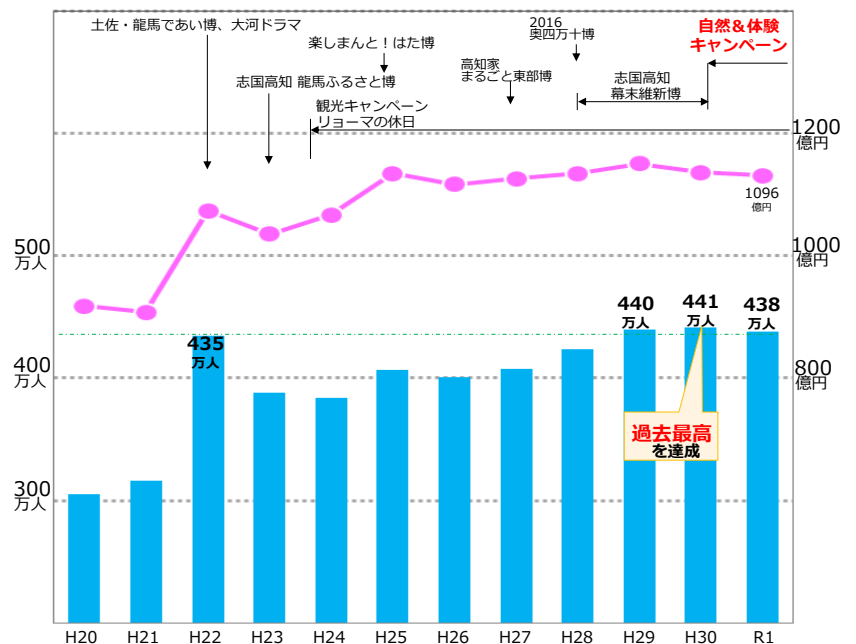
平成30年度利用実績15,000人以上の施設

施設名称
「龍馬伝」幕末志士社中
高知城懐徳館（高知城）
高知市桂浜公園駐車場
高知県立坂本龍馬記念館
高知県立のいち動物公園
高知県立美術館
高知県立牧野植物園
アンパンマンミュージアム
高知県立高知城歴史博物館
西島園芸団地
創造広場「アクトランド」
龍河洞
桂浜水族館
室戸世界ジオパークセンター
土佐和紙工芸村「くらうど」CRAUD
北川村「モノの庭」マルモッタン
雲の上の温泉
高知よさこい情報交流館
高知市立龍馬の生まれたまち記念館
高知県立文学館
高知県立足摺海洋館
足摺海底館
いの町紙の博物館
鯉乃國の湯宿 黒潮本陣
中津溪谷 ゆの森
旧浜口家住宅
海洋堂ホビー館 四万十
室戸ドルフィンセンター
高知県立月見山こどもの森
高知県立歴史民俗資料館
ジョン万次郎資料館
オートキャンプ場 とまろっと

出典：平成30年 県外観光客入込・動態調査報告書

【高知県の観光客数及び観光総消費額の推移】

● 県外観光客入込数(■)・観光総消費額(●)の推移



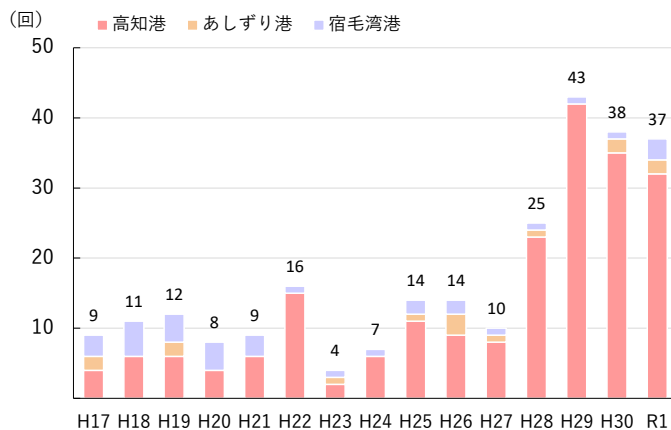
出典：平成30年 県外観光客入込・動態調査報告書
高知県観光政策課提供資料

増える訪日外国人観光客

高知県では、それぞれの地域において訪日外国人観光客の受け入れ態勢の強化等や大型クルーズ客船の寄港回数の増加等に伴い、訪日外国人観光客数が増加しています。

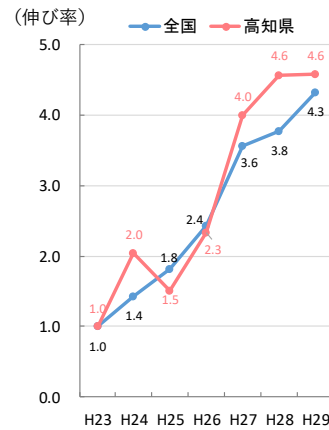
一方で、クルーズ客船のオプションルツアーの主な行き先は高知市内に集中する傾向にありました。今後は、訪日外国人観光客の受入態勢の強化や高速道路の整備による移動時間の短縮など、クルーズ客船寄港回数の増加による効果を県内の各地域に拡大していきます。

【クルーズ客船寄港実績の推移】



出典：高知県港湾海岸課

【外国人延べ宿泊者数の推移】



出典：宿泊旅行統計調査



▲高知新港にクイーン・エリザベス入港 (H30.3.19)

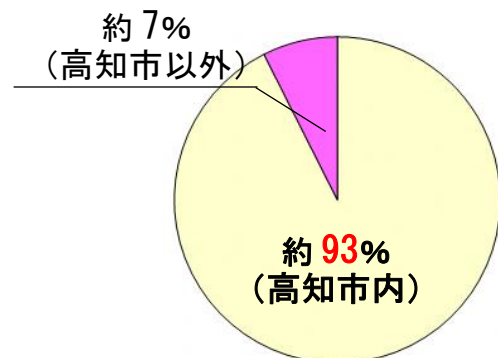


▲クルーズ客船2隻同時入港 (H30.4.25)

【クルーズ客船オプションルツアーの主な行き先】



▲クルーズ客船利用客で賑わう高知城



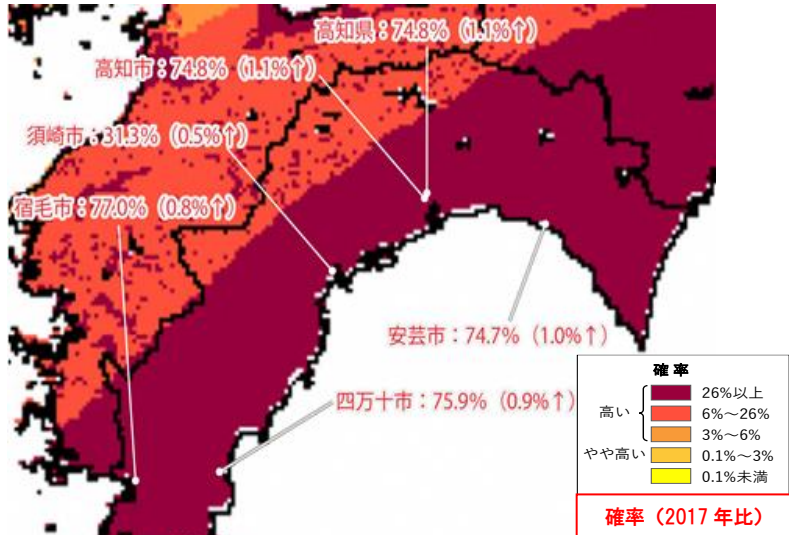
出典：高知県観光コンベンション協会提供資料より作成

(6) 災害の現状

高い確率で発生が予想される巨大地震

今後 30 年間に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率は、高知県全域で非常に高く、太平洋沿岸を中心に 26%以上（100 年に 1 度程度以上）の地域が広範囲に広がっています。中でも高知市や安芸市、四万十市、宿毛市では 70%以上となっており、大きな揺れにより甚大な被害が想定されています。

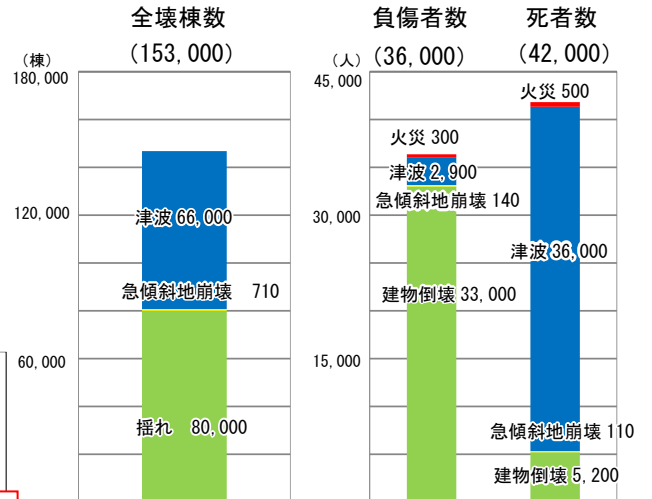
【地震動予測 2018 年：確率分布】



※今後 30 年間に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率（平均ケース・全地震）
※確率が 0.1%、3%、6%、26%であることは、それぞれ大まかに、約 30,000 年、約 1,000 年、約 500 年、約 100 年に 1 回程度、震度 6 弱以上の揺れに見舞われることを示します。

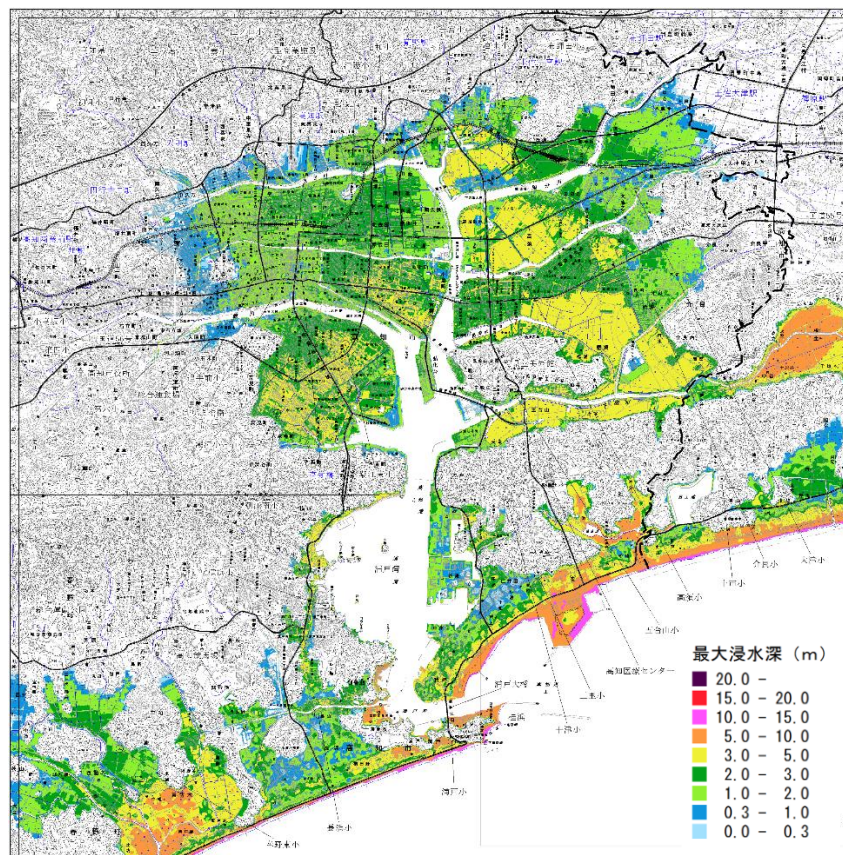
出典：全国地震動予測地図 2018 年版（地震調査研究推進本部地震調査委員会）

【南海トラフ地震における建物被害・人的被害状況】



※住宅耐震化率 74%、津波早期避難率 20%、冬深夜の場合

出典：平成 24 年度高知県南海トラフ地震被害想定調査

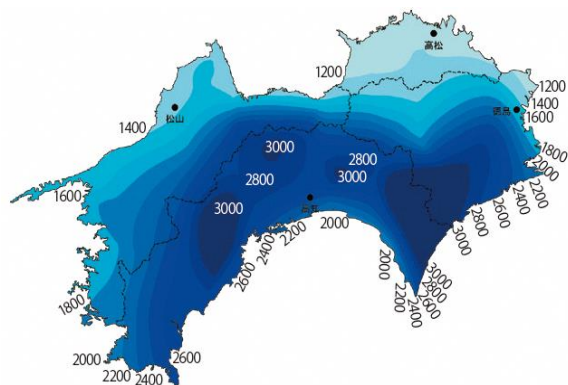


出典：平成 24 年度高知県南海トラフ地震被害想定調査

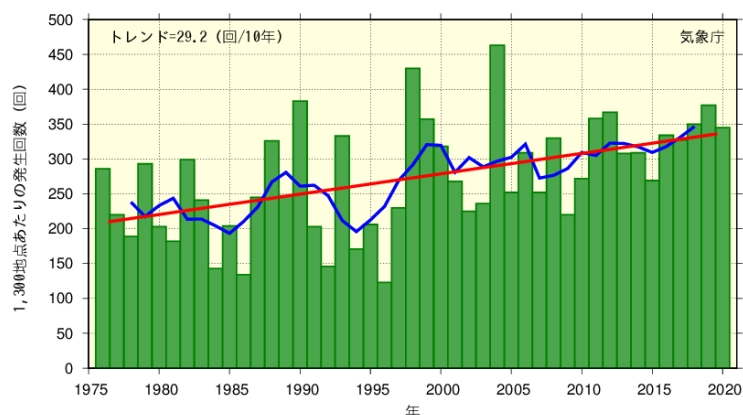
局地化・集中化する豪雨

高知県は、年間降水量が 3,000 mm を超える地域も存在する全国有数の多雨地域で、集中豪雨はほぼ毎年発生しています。

【年間降雨量分布図】



【集中豪雨の発生回数】

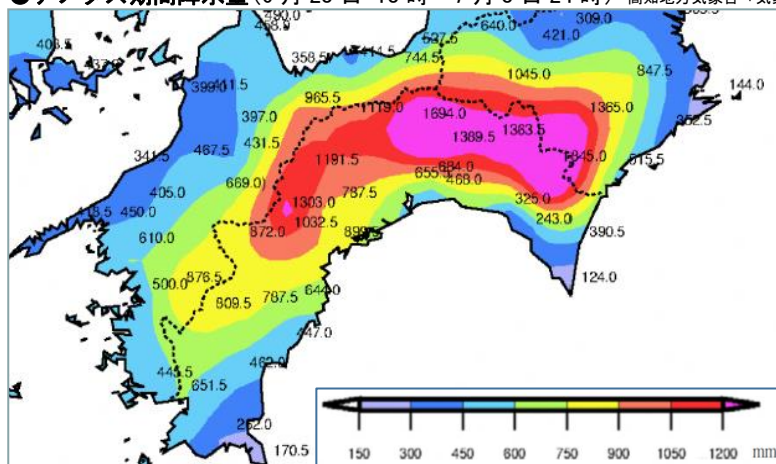


出典：気象庁HP

平成 30 年 7 月豪雨では、四国 8 の字ネットワーク等により代替路がこれまでに確保できていない宿毛市の国道 56 号や北川村の国道 493 号をはじめとする幹線道路においても、浸水や斜面の崩壊等により、通行止めが発生しました。

【平成 30 年 7 月豪雨での降水量】

●アメダス期間降水量(6月28日18時～7月8日24時) 高知地方気象台「気象速報」

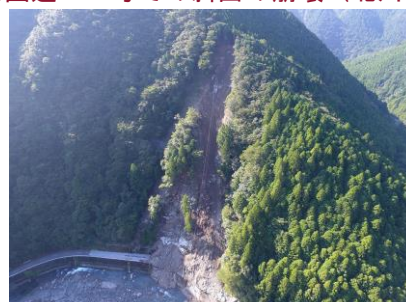


【平成 30 年 7 月豪雨での被災状況】

■国道 56 号での浸水(宿毛市)



■国道 493 号での斜面の崩壊(北川村)

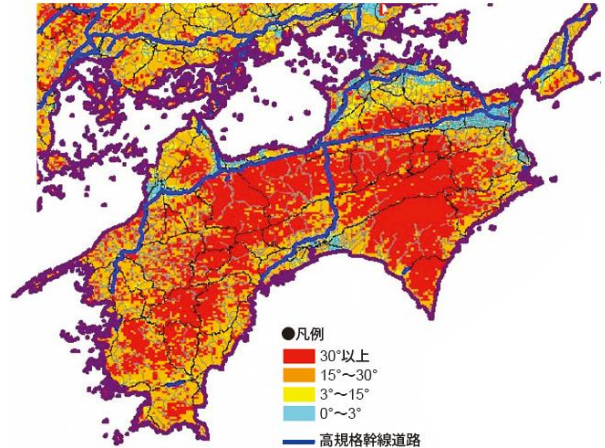
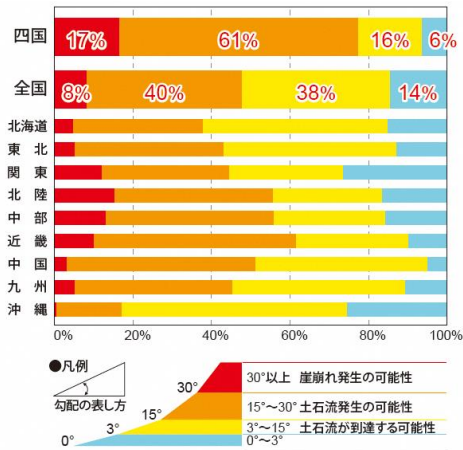


土石流・崖崩れの危険性が高い高知県

四国地方は、中央部を東西に四国山地が連なり急峻な地形が続きます。また、構造線が横断し、これに沿って脆弱な地形が分布しており、崖崩れや土石流が発生する可能性のある地域が合わせて約8割、土石流が到達する可能性がある地域を含めると9割以上が該当します。

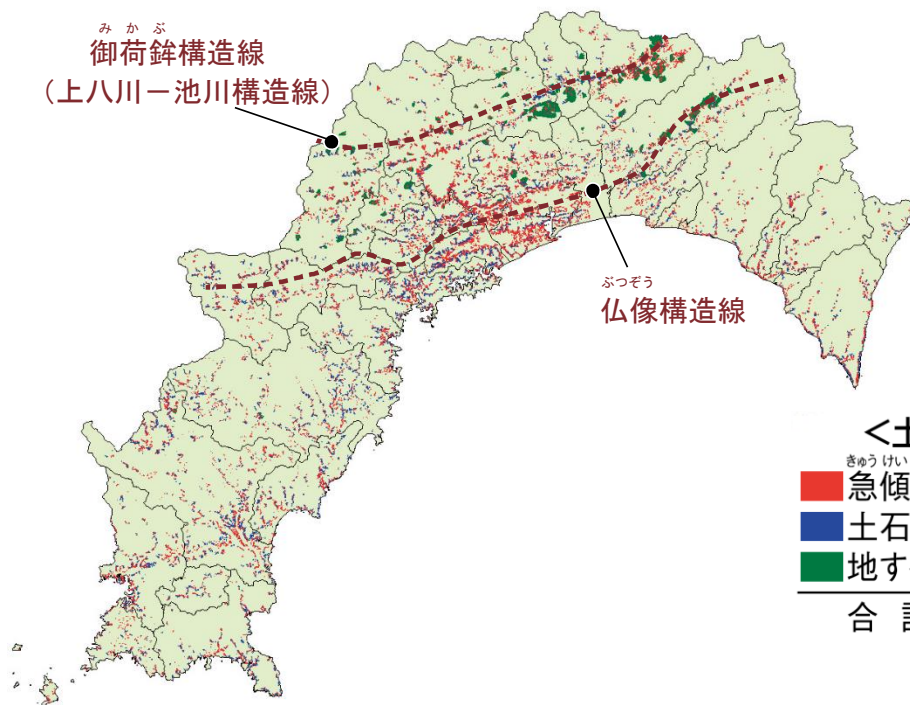
また、高知県内には約2万箇所の土砂災害危険箇所があります。

【ブロック別傾斜地割合】



出典：「昭和57年国土数値情報作成調査」による「地形傾斜度別面積」「傾斜度分布図」
四国地方整備局作成

【土砂災害危険箇所】



●土砂災害危険箇所
土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所、山腹崩壊危険地区、崩壊土砂危険地区のことです。

＜土砂災害危険箇所分布＞

急傾斜地(がけ崩れ)	13,834 箇所
土石流	5,320 箇所
地すべり	212 箇所
合 計	19,366 箇所 (H30.12.1 現在)

出典：高知県防災砂防課 HP

積雪による通行止めの発生

高知自動車道や国道32号、国道33号等の山間部等では、冬期には道路への積雪により通行止めが発生しています。



◀ 積雪による高知自動車道の通行止め状況

2 高知県の将来像

(1) 四国地方の将来像（四国圏広域地方計画 H28.3）

今後10年間の圏域づくりにむけて

- 美しい自然風景、独自の歴史・文化、芸術、確かな力ある産業、個性ある第一次産業や食等、多種多様な地域資源が各地に存在し、現在に受け継がれている。
- 四国遍路に代表される「癒やし」や「お接待」、「おもてなし」の文化は、現代社会に暮らす人々にとっての心の拠りどころとして、精神的な満足感をもたらしている。
- 瀬戸内国際芸術祭や瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会（サイクリングしまなみ）等の取組を通じ、多島美を誇る瀬戸内海の島々の自然、文化、芸術、食を活かした連携交流が活発に行われているほか、サテライトオフィス、全県的な遠隔医療ネットワークの整備など ICTを活用した先進的な取組も行われている。
- 産業については、高機能素材の一大集積地として大手先端素材メーカーの製造拠点のみならず、優れた技術を有するグローバルニッチトップ企業が集積しており、国内外の市場を切り拓いていくポテンシャルを有している。
- 四国圏が持つ独自の地域資源や取組の状況を踏まえ、圏域に暮らす全ての人々が四国に住み続けたいと思い、また、圏域の外に暮らす人々が行ってみたい、住んでみたいと思える四国圏を創出することが求められている。
- 地域の個性を磨き、多様な個性を持つ様々な地域が相互に連携して生じる地域間のヒト・モノ・カネ・情報の双方向の活発な流れである「対流」を湧き起こし、地域の活力の向上とイノベーションの創出を促すことが必要である。

『全国計画が目指す国土の基本構想としての「対流促進型国土」の実現に向け、四国圏においても地域構造としての「コンパクト+ネットワーク」の形成を進める。』

基本方針

太平洋と瀬戸内海に抱かれた地域の強みを活かし、

～圏域を超えた対流で世界へ発信～
「癒やし」と「輝き」で未来へ

を今後10年間新たな四国圏における国土形成の基本方針とする

四国圏の発展に向けた目標

- ① 南海トラフ地震への対応力の強化等、安全で安心して暮らせる四国
- ② 若者が増え、女性・高齢者が生き生きと活躍する四国
- ③ 地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国
- ④ 中山間地域・半島部・島嶼部等や都市間が補完しあい活力あふれる四国
- ⑤ 歴史・文化・風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人を引きつける四国



(2) 高知県が目指す将来像

高知県では、現在、県勢の浮揚を図り、将来に希望の持てる県づくりに向けて、5つの基本政策に基づいた取組を進めるとともに、それらの政策に横断的に関わる政策に取り組んでいます。

● 5つの基本政策

I. 経済の活性化

経済の活性化を目指し、県民所得の向上と経済の抜本的な体質強化に向けた地産地消・外商や移住促進など

II. 日本一の健康長寿県づくり

県民の健康づくりの支援、高知版地域包括ケアシステムの構築など

III. 教育の充実と子育て支援

学力向上に向けた取組、幼児教育や保育サービス等の充実など

IV. 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

南海トラフ地震対策の抜本強化など、地震への備えや応急対策の実行により県民の安全・安心の確保

V. インフラの充実と有効活用

県民の安全・安心につながる道路、河川、港湾などの整備

● 5つの基本政策に横断的に関わる政策

I. 中山間対策の充実・強化

集落活動センターの普及・拡大を中心に、中山間地域でだれもが一定の収入を得ながら、安心して暮らし続けることができる仕組みづくり

II. 少子化対策の充実・強化

結婚、妊娠・出産、子育て、就労などのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策を進め、安心して出産し、仕事と子育てを両立できる環境づくり

III. 女性の活躍の場の拡大

就職活動や起業への多様なニーズに応じた就労支援など、就労を希望する女性が多様なライフステージを通して働き続けられる環境づくり

IV. 文化芸術とスポーツの振興

文化芸術に触れる機会の充実などに取り組むとともに、スポーツ参加の拡大、競技力の向上、スポーツを通じた活力ある県づくりを推進

高知県の将来像について、「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「高知県産業振興計画」に位置付けられている目指す姿から以下の通りとします。

地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県

広域的な道路交通の基本方針（第3章）は、県の政策のうち道路整備によって直接的に効果がもたらされる「経済の活性化」、「中山間対策の充実・強化」、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」の観点から定めることとします。

第2章 高知県の交通課題と既存の取組

1 高知県の交通課題

(1) 高速道路のミッシングリンクや暫定二車線区間の存在

高知県の高速道路については、順次整備が進められておりますが、県東部、西部地域を中心に『ミッシングリンク』が存在しています。このため、平時における野菜や鮮魚、木材等の特産物や工業製品等の消費地や提携工場等への効率的で安定した輸送はもとより、外国人も含めた観光客の快適で円滑な移動の確保にも支障をきたしています。

これに加え、南海トラフ地震の津波浸水の影響により交通の寸断が想定される箇所の多くがミッシングリンクと重なり、発災後の円滑な支援部隊の進出や緊急物資の輸送に支障をきたすことが想定されます。

また、現在、開通している高知自動車道の高知県境～高知 IC 以外のほとんどの区間が暫定二車線で供用されています。このため、低速車両の走行による後続車の速度低下はもとより、交通事故や災害等による通行止めが発生した際には、迅速な救急搬送や広域迂回による経済活動への影響も生じています。

【津波による浸水想定箇所及び最大津波高】



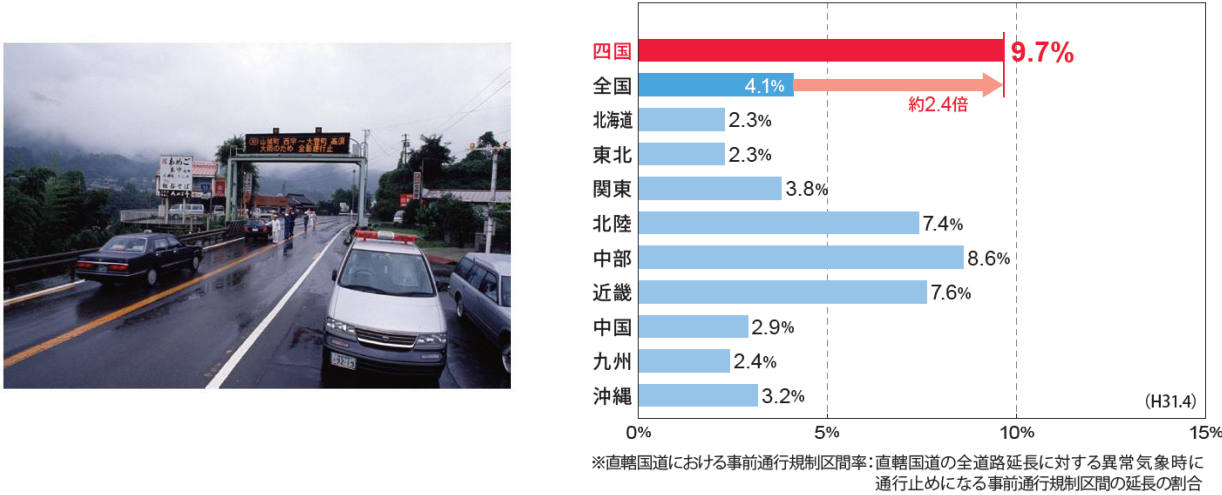
(2) 脆弱な道路ネットワーク

高知県内の道路では、直轄国道の国道 32 号や国道 33 号、国道 55 号の一部区間、県管理道路の 57 路線 86 区間（県管理道路の延長の 3 割）が、異常気象時の事前通行規制区間となっています。

県管理道路では、H29 年度に 50 路線 77 区間で延べ 4500 時間以上の事前通行規制による通行止めが発生しています。

通行止めによって、県民の暮らしに大きな影響を与えることになります。

【直轄国道における事前通行規制区間率】



【高知県内の一般国道（県管理）における事前通行規制区間】

路線名	規制区間	延長	通行止め雨量基準	
		(km)	時間 (mm)	連続 (mm)
国道 195 号	香美市物部町岡ノ内～別府	15.8	40	200
国道 439 号	四万十市杵子峠～住次郎	8.6	50	200
	四万十町井津井谷～杵子峠	6.9	50	200
	四万十町下津井～大正大奈路	16.5	50	200
	梶原町松原～影地	4.6	50	200
	津野町番城～梶原町下折渡	7.5	50	200
	仁淀川町大植～太郎田	3.3	50	200
	大豊町京柱～粟生	15.3	50	200
国道 441 号	四万十市西土佐岩間～久保川	8.7	50	200
国道 493 号	北川村長山～小島	11.1	50	200
	北川村小島～二又	7.0	50	200
	北川村二又～四郎ヶ野峠	12.2	50	200
	北川村四郎ヶ野峠～東洋町野根	5.6	50	200
国道 494 号	仁淀川町境野～大西	11.5	50	200

平成 30 年 7 月豪雨では、県や市町村管理道路において法面崩壊や路側欠壊等による全面通行止めが発生し、一時 50 地区 1,003 世帯の孤立が発生しました。

さらに、高速道路や直轄国道の主要幹線道路においても、土砂流入や法面崩壊等が多発し、とりわけ、高知自動車道では道路区域外からの土砂崩壊により、橋梁の上部工が流失する大規模な災害が発生しました。

しかしながら、国道 32 号や徳島自動車道等への迂回により、広域的な交通ネットワークの途絶の回避につながったほか、4 車線化済区間であったため、下り車線を活用した対面通行により本県の人流・物流の大動脈が早期に通行が再開され、大規模災害時におけるダブルネットワークの重要性と 4 車線化の有用性が改めて認識されたところです。

【高知自動車道の被災状況】

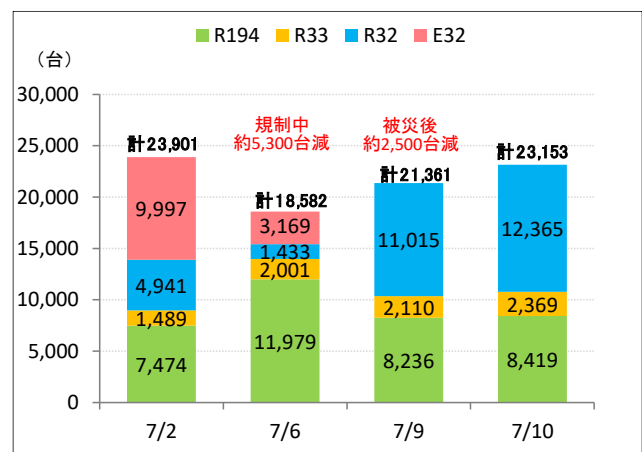


【下り線を活用した対面通行による通行再開状況】



高知市と愛媛県西条市を結ぶ国道 194 号は、事前通行規制区間が無く、多くの直轄国道が通行止めになった平成 30 年 7 月豪雨時にも通行止めが発生せず、県中央部と県外間との陸上交通の途絶を回避する重要な役割を果たしています。

【平成 30 年 7 月豪雨災害による高知道通行止め前後の交通量】

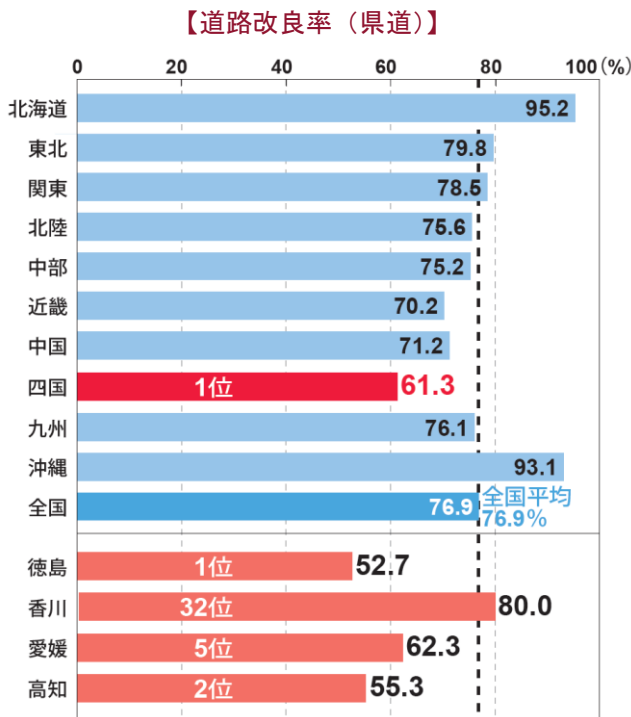


(3) 中山間地域を中心に多く残る未改良区間

高知県内には、険しい地形や脆弱な地質等により中山間地域を中心に未改良区間が多数存在しており、県が管理する国道では比較的整備が進んでいるものの、県道の約半数は車道幅員が 5.5m 未満の道路です。

自然・体験型の観光資源は、とりわけ中山間地域に豊富に存在しており、地域の活性化につなげていくためには、観光拠点等への安全で円滑なアクセスの確保が必要です。

また、沿岸部では南海トラフ地震による津波浸水被害が想定されており、備えを高めるためには、中山間地域を横断してつなぐことができる道路ネットワークの確保が重要です。



※棒中の白抜き数値は全国ワースト順位
※道路改良率＝改良済延長／実延長
（改良済延長：車道幅員が 5.5m 以上の道路延長）
※政令市を含む
出典：道路統計年報 2017

道路種別		路線数	実延長(m)	改良済	
				延長(m)	率 (%)
一般国道	指定区間	4	424, 570	424, 570	100. 00
	指定区間外	10	654, 801	553, 635	84. 55
	計	14	1, 079, 371	978, 205	90. 63
主要地方道		48	1, 042, 361	695, 568	66. 73
一般県道		140	1, 081, 788	491, 137	45. 40
県道計		188	2, 124, 149	1, 186, 705	55. 87
国道・県道計		202	3, 203, 520	2, 164, 910	67. 58

出典：高知県の道路状況平成 31 年 4 月 1 日現在

（４）緊急輸送道路等における橋梁の耐震対策や落石対策等

南海トラフ地震等の発生時に、円滑な物資の輸送等を確保し、命をつないでいくためには、県の総合防災拠点等をはじめとする広域の防災拠点とそれぞれの地域の避難所や病院等とを結ぶ緊急輸送道路や啓開ルートの橋梁の耐震対策が必要です。これまでの取り組みにより、橋梁の落橋を防ぐ対策は概ね完了しています。

今後は、地震による損傷が軽微に留まり、速やかに機能回復が可能な耐震対策や、法面の防災対策を着実に進めていく必要があります。

【緊急輸送道路（県管理）における橋梁の耐震補強の状況】

要対策橋梁	対策完了
184 橋	2 橋

※令和元年度末時点、15m 以上が対象

地震による損傷が軽微に留まり、速やかに機能回復が可能な耐震対策が完了したもの

【緊急輸送道路（県管理）の法面の防災対策の状況】

要対策箇所	対策完了箇所
1,063 箇所	286 箇所

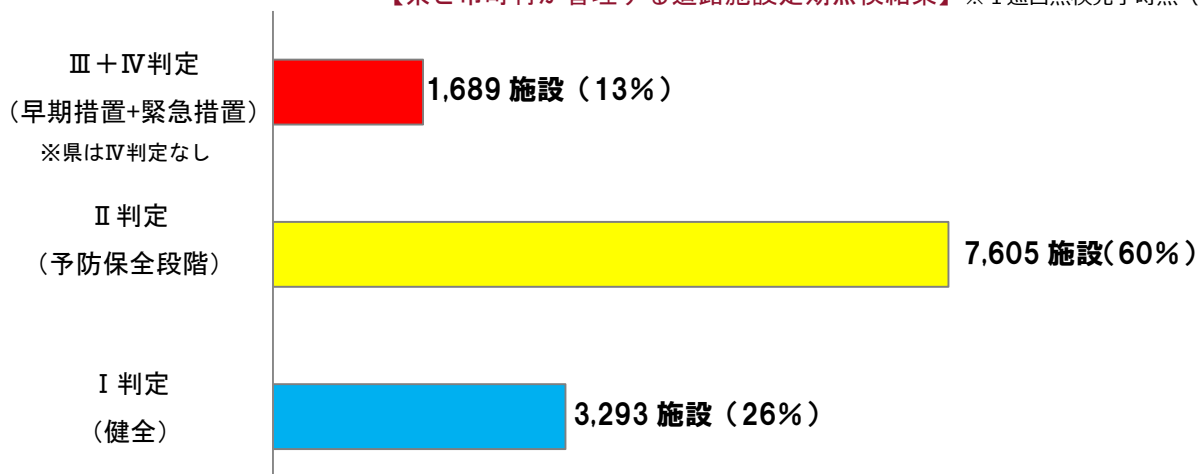
※平成 8 年道路防災総点検による落石等の要対策箇所

※令和元年度末時点

（５）道路施設の老朽化

県や市町村が管理する道路の橋梁やトンネルなどの道路施設では老朽化が進んでおり、点検の結果、緊急又は早急な対策が必要な施設が約 14%あります。安全・安心な通行の確保に向けて、重点的な対策が必要です。

【県と市町村が管理する道路施設定期点検結果】 ※ 1 巡目点検完了時点（H26～H30）



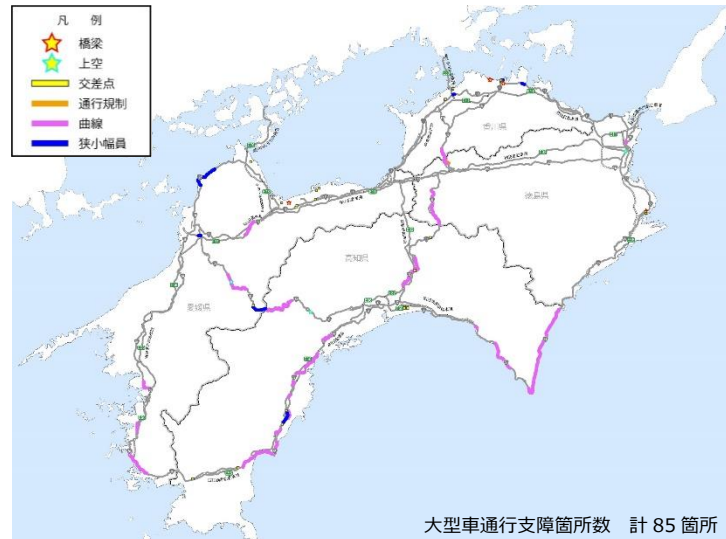
【参考】

- Ⅰ判定：健全
- Ⅱ判定：安全上の緊急性なし。耐久性の確保上、補修が必要（予防保全段階）
- Ⅲ判定：安全性の観点から早期の補修が必要（早期措置段階）
- Ⅳ判定：安全性が確保されていない、緊急措置が必要（緊急措置段階）

(6) 制約を受ける国際海上コンテナ車（40ft 背高）

世界的に増加している国際海上コンテナ車を走行させるためには、特車申請が必要となっています。申請のある路線全般に、通行に支障のある橋梁が多数存在するなど、現状の道路網は、道路構造上の課題が存在し、円滑な物流に支障をきたしています。

【大型車通行支障箇所】

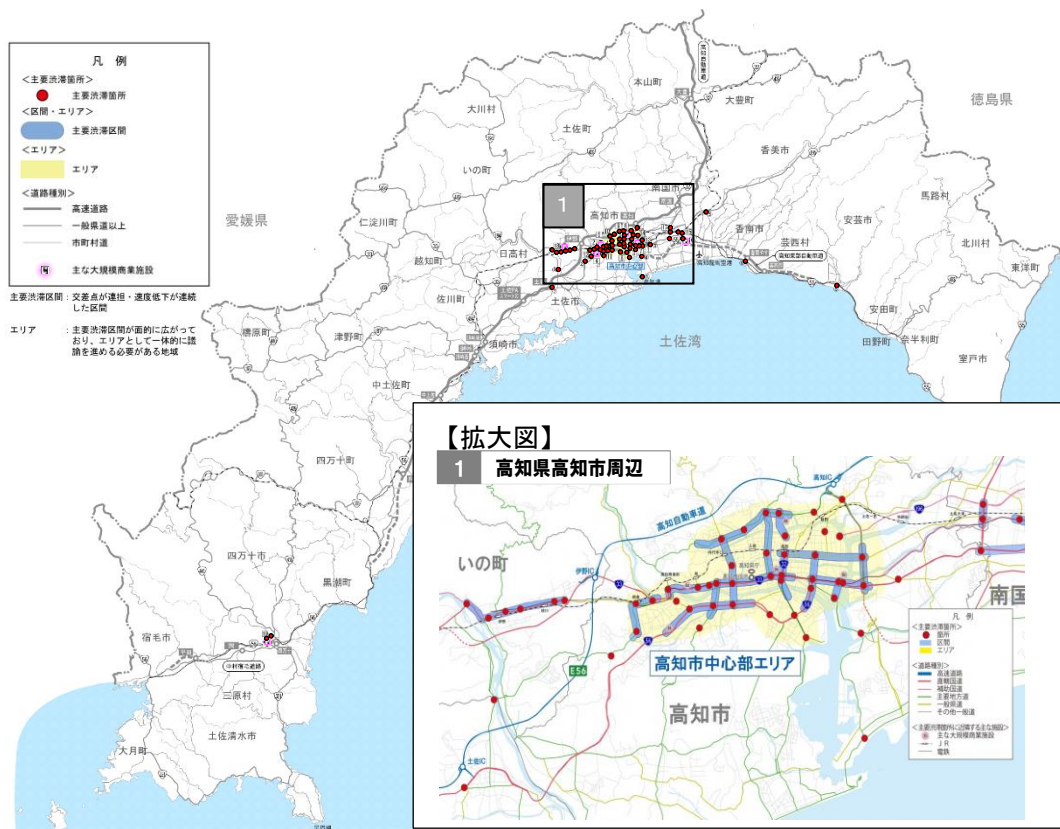


※海上コンテナ用セミトレーラ（40ft 背高非認証トラクタ）を対象に支障箇所を確認した結果C・D条件に値する箇所
出典：国土交通省資料より作成

(7) 渋滞の発生

高知県内には、59 箇所の主要渋滞箇所が存在し、高知市中心部及びいの町、安芸市、須崎市、四万十市の平地部市街地に集中しています。

【高知県の主要渋滞箇所（一般道）】



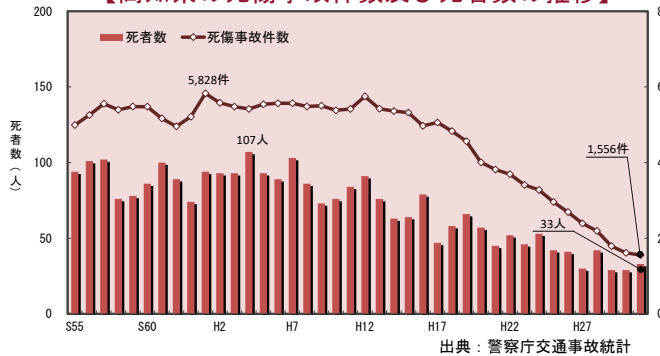
出典：高知県渋滞対策協議

(8) 交通事故

高知県内の交通事故件数は、ピーク時には年間 5,828 件発生していましたが、令和元年には、1,556 件、死者数は平成 4 年の 107 人から 33 人と大きく減少しています。しかしながら、人口あたりの交通事故死者数は、全国平均を大きく上回っています。

また、事故危険区間としては、県内では 50 箇所が指定されており、事故危険箇所として県管理道路では 49 箇所が指定されています。

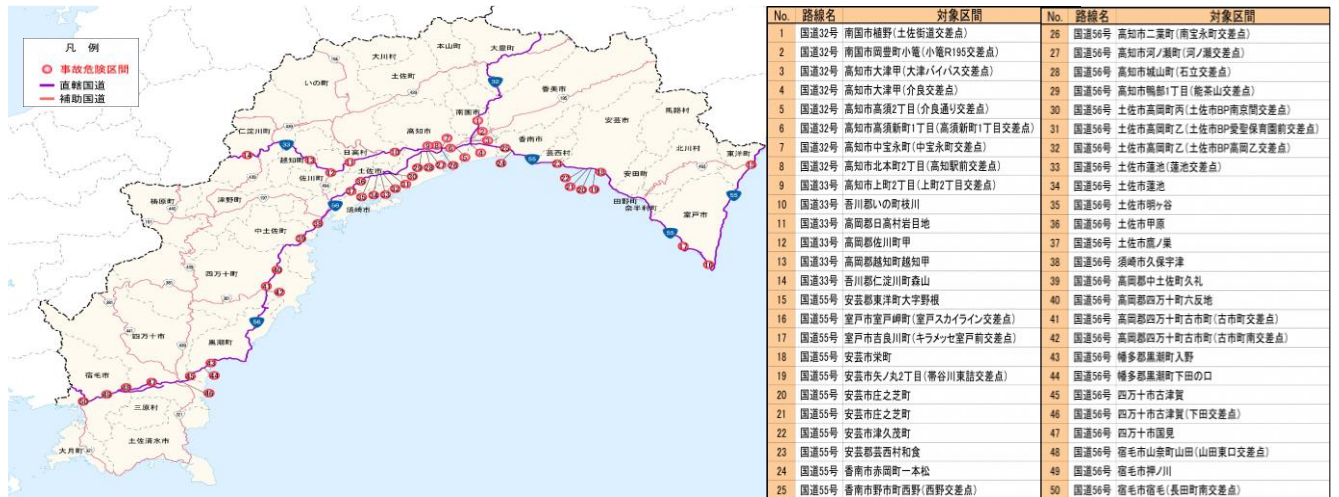
【高知県の死傷事故件数及び死者数の推移】



【人口 10 万人当たり交通事故死者数（R1）】



【高知県の事故危険区間】



※事故危険区間とは

- ・事故要因に即した対策を重点的・集中的に実施し、効率的・効果的な対策を推進することを目的に、重大事故の発生状況等の事故データや学識経験者・地元住民等への意見聴取結果に基づき事故危険区間として選定。

【県管理道路の事故危険箇所（高知市内箇所抜粋）】

指定時期	道路種別	路線名	箇所	指定時期	道路種別	路線名	箇所
第1期指定	主要地方道	春野赤岡線	高知市浦戸	第2期指定	一般県道	大河内朝倉(T)線	高知市朝倉丙540～朝倉丙1073
	主要地方道	高知本山線	高知市北本町		主要地方道	高知土佐線	高知市針木西1419-23～高知市針木西175-1
	主要地方道	高知本山線	高知市北本町～高知市		一般県道	高知南国線	高知市大津乙1031-3～大津乙1024-1
	主要地方道	高知本山線	高知市高須		一般県道(指定区間外)	国道195号	高知市大津乙670
	主要地方道	高知土佐線	高知市針木		一般県道	高知南国線	高知市大津乙1910
	主要地方道	高知本山線×高知市道	高知市愛宕町三丁目		一般県道	北本町線石線	高知市高須町9-24
	主要地方道	高知本山線×高知市道	高知市愛宕町三丁目		主要地方道	高知土佐線	高知市朝倉丙315-1
	主要地方道	桂浜宝永線×土佐五台山線	高知市五台山		一般県道	八幡大津線	高知市大津甲838-1
	主要地方道	桂浜はりやま線×高知市道	高知市瀬戸		主要地方道	高知北環状線	高知市高須町10-35
	主要地方道	桂浜はりやま線×高知市道	高知市横浜	第3期指定	主要地方道(県道)	桂浜はりやま線	高知市高須町20
	主要地方道	桂浜はりやま線×高知市道	高知市高須		一般県道	後免中島高知線	高知市高須町43
	主要地方道	高知市道	高知市高須		一般県道	北本町線石線	高知市北本町2丁目8番
第4期指定	一般県道	高知市道	高知市大津		主要地方道	高知本山線	高知市高須町2丁目1番
	一般県道	北本町線石線×土佐一宮停車場線	高知市一宮		一般県道	八幡大津線	高知市大津甲838-1
					主要地方道	高知北環状線	高知市高須町330
					主要地方道(県道)	桂浜宝永線	高知市高須町212

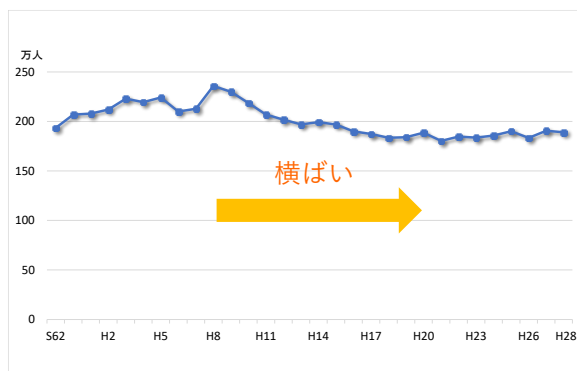
※事故危険箇所とは

- ・幹線道路において集中的な交通事故対策を実施することを目的に、警察庁と国土交通省が、死傷事故率が高い交差点などを事故危険箇所として選定。

(9) 公共交通機関の連携強化

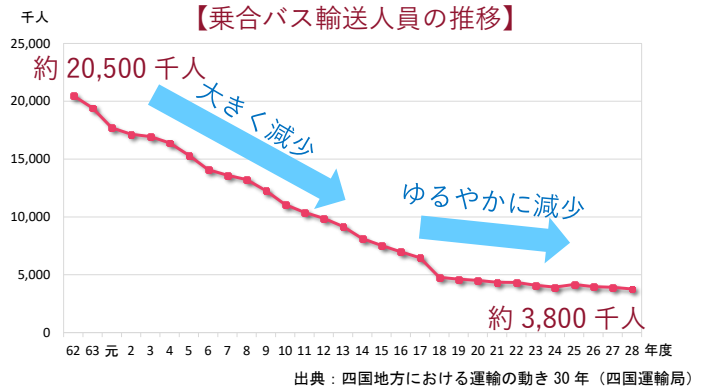
高知県内の鉄道や乗合バスなどの公共交通機関の利用者数は、横ばいもしくは緩やかな減少傾向にあります。近年増加している県外観光客や訪日外国人観光客の更なる増加と県内の各地域への誘客拡大のためには、駅などの交通拠点を核とした公共交通機関の連携強化による利用者の利便性の向上が必要です。

【JR 四国高知駅旅客人員の推移】



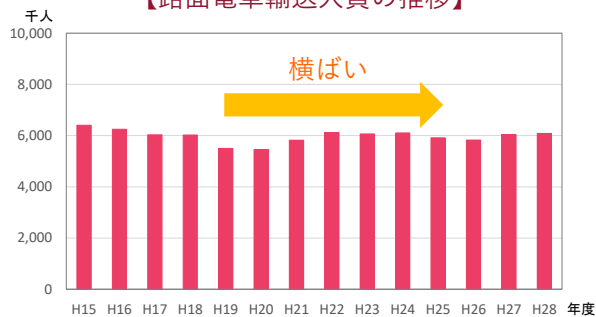
出典：高知県統計書

【乗合バス輸送人員の推移】



出典：四国地方における運輸の動き 30 年（四国運輸局）

【路面電車輸送人員の推移】



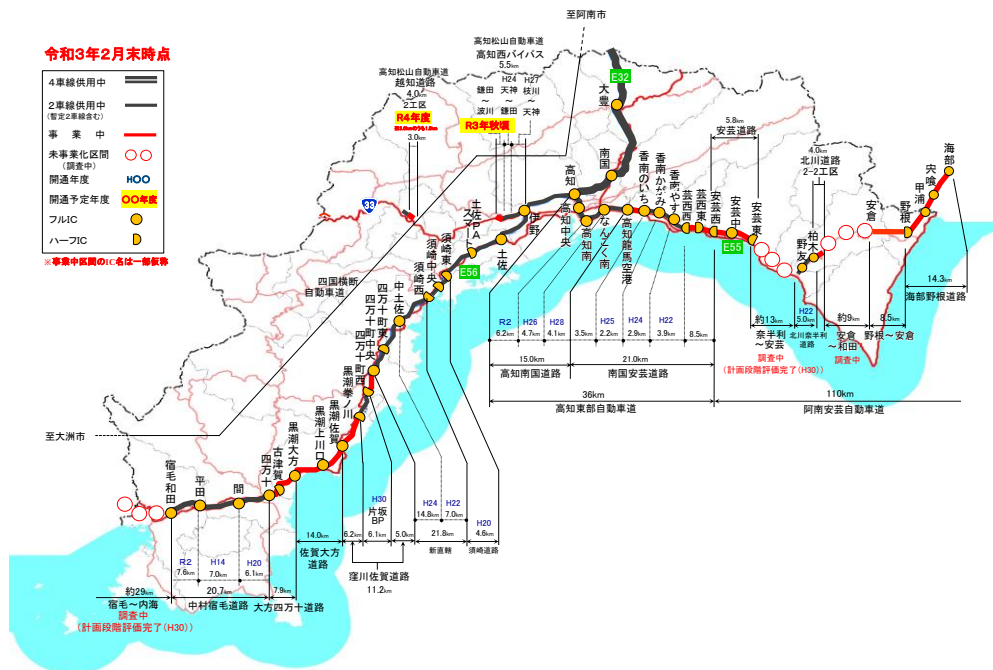
出典：高知市統計書

2 高知県における主な取組

(1) 四国8の字ネットワークなどの高規格道路の早期整備

それぞれの地域において展開される様々な経済活動を支え、南海トラフ地震などの大規模災害への備えを高めるうえで、極めて重要な役割を担う四国8の字ネットワークや高知松山自動車道の整備を進めています。

【高規格道路の整備状況】



(2) 中山間地域の道路整備

集落活動センターや豊かな資源を活用した自然・体験型観光拠点等への安全で円滑なアクセスの確保に向けて、1.5車線の道路整備も活用しながら、中山間地域の道路整備を進めています。2車線整備にこだわらず、地域の実情に合った道路の整備を地域住民の理解を得て進めるもので、2車線改良、1車線改良、突角・線形の是正及び待避所の設置などを効果的に組み合わせて道路整備を進めています。

【1.5車線の整備のイメージ】

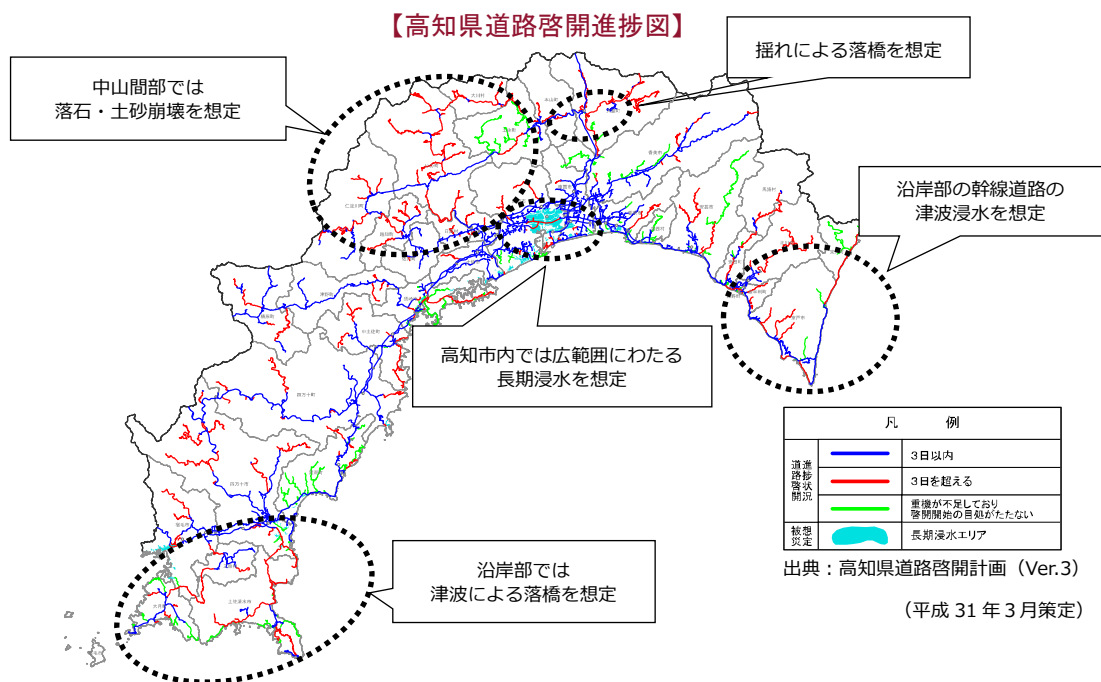


(3) 高知県道路啓開計画の策定

南海トラフ地震の発生に伴う強い揺れや津波の襲来により、高知県では大きな被害が想定されています。発災直後から道路啓開を確実に実施し早期の完了を図るため、あらかじめ防災拠点を選定し、防災拠点に至るまでのルート等を定めた道路啓開計画を策定しています。

防災拠点までのルートは、揺れ・津波による落橋や落石・土砂崩壊等を回避し、被災がある場合にも最も早く啓開できるルートを選定しています。

道路啓開を早期に完了するためには、橋梁の耐震強化や法面の防災対策が非常に重要です。

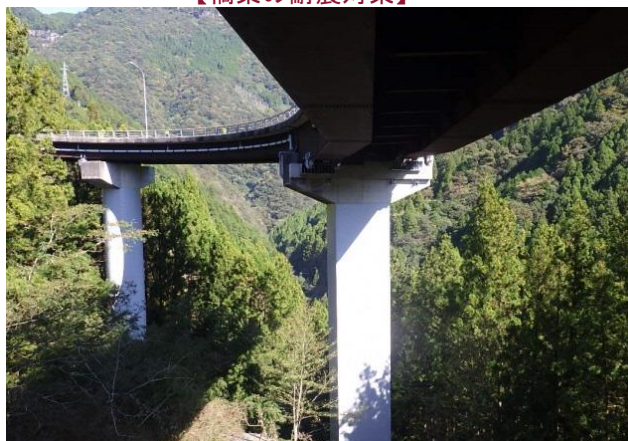


(4) 緊急輸送道路等の橋梁の耐震対策や法面の防災対策

南海トラフ地震などの大規模災害発生時に、防災拠点等への支援部隊の進出や緊急物資の輸送等を円滑に行うことができるよう、事前に緊急輸送道路等における橋梁の耐震強化や法面の防災対策を計画的に進めています。

（平成 29 年度 高知県橋梁耐震化計画策定、平成 30 年度 高知県道路防災対策推進計画策定）

【橋梁の耐震対策】



（国道 194 号 安望大橋 いの町）

【法面の防災対策】



（県道土佐清水宿毛線 黒川工区 宿毛市）

(5) 道路施設の老朽化対策

仕事や観光で道路利用者が安全・安心に日々道路を利用できるよう道路施設定期点検結果に基づき、緊急又は早急な対策が必要な道路の橋梁やトンネルなどの道路施設から順次、老朽化対策を進めています。(令和2年度 高知県橋梁長寿命化修繕計画策定、令和元年度 高知県道路トンネル維持管理計画策定、平成30年度 高知県シェッド等個別施設計画策定、平成30年度 高知県横断歩道橋等個別施設計画策定)

【県管理道路の橋梁の老朽化対策】

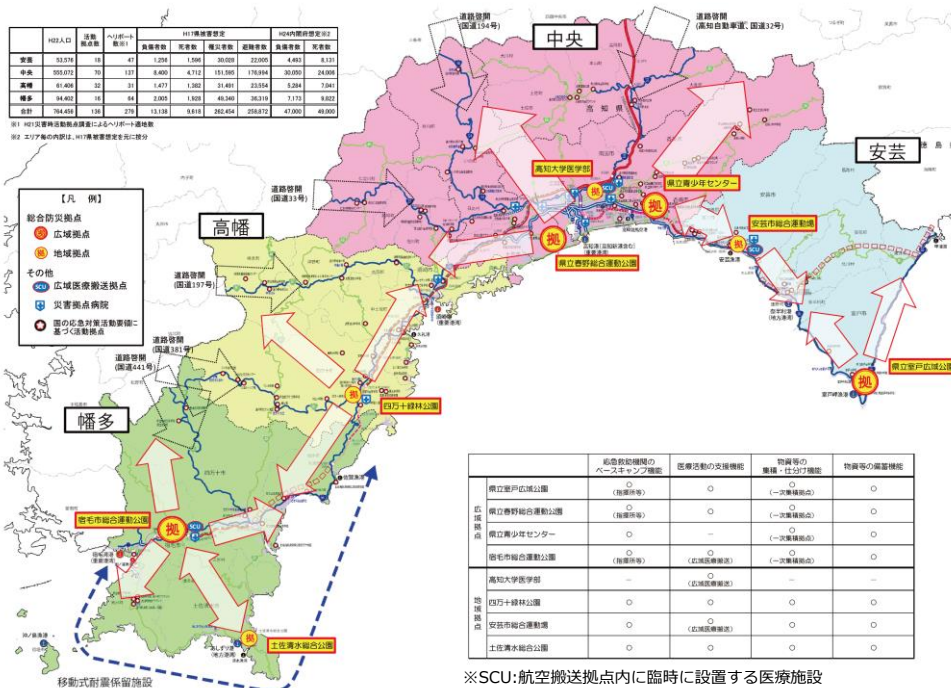


(県道中村宿毛線 とどろき橋 宿毛市)

(6) 総合防災拠点の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、平常時の予防対策から災害時の応急復旧対策までを総合的に推進する広域ブロックの中核的な防災拠点として、活動の拠点となる建物と広いオープンスペースを備えた総合防災拠点を配置し、備蓄倉庫や通信設備等の整備が完了しています。

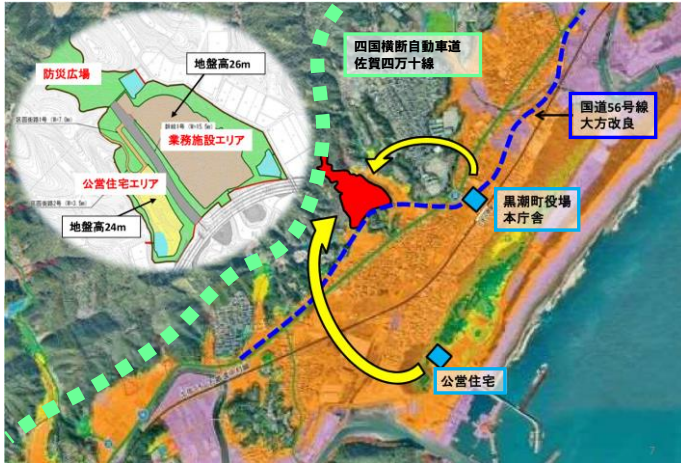
【県の総合防災拠点】



(8) 市町村役場の庁舎移転

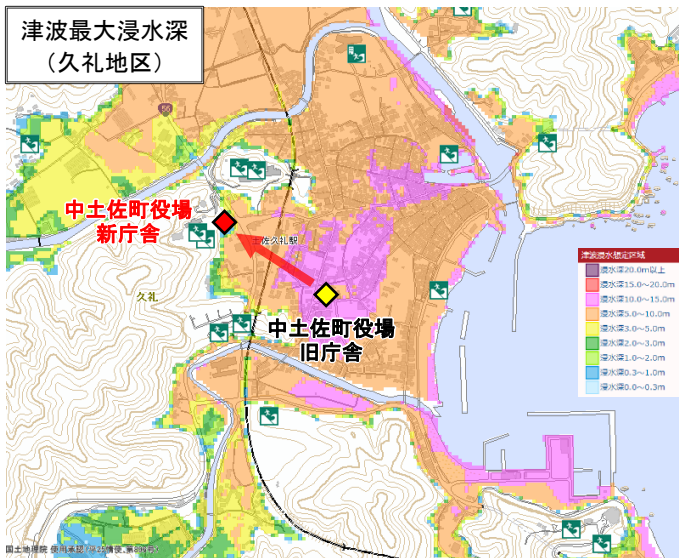
高知県内の市町村では津波浸水の想定区域に立地している庁舎の高台への移転等が進められています。移転先は、発災時に高速道路等の整備を見据え連携が確保されるよう考慮されています。

【黒潮町本庁舎等の高台移転（2018年1月移転）】



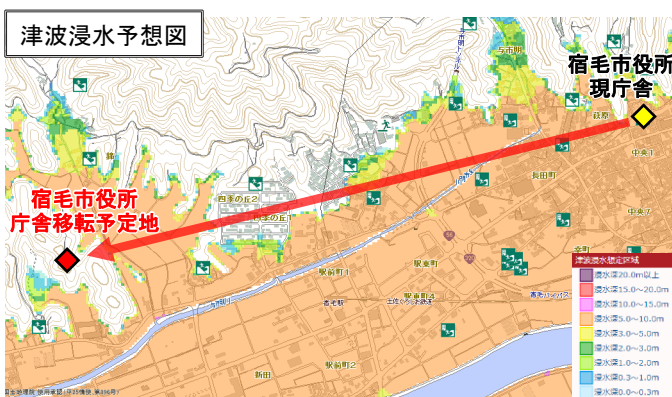
出典：四国地方整備局記者発表資料、黒潮町 HP

【中土佐町庁舎等の高台移転（2021年1月移転）】



出典：中土佐町提供資料より作成

【宿毛市庁舎の高台移転計画】



出典：宿毛市提供資料より作成

(9) 道の駅の防災拠点化

高知県では、将来予想される南海トラフ地震などの大規模災害に備え、「道の駅」の防災拠点化を進めており、既往の大規模災害時において「道の駅」が果たした役割を参考に、本県の「道の駅」の現状を踏まえて防災施設の整備を推進しています。

南海トラフ地震発生時には、沿岸部は津波による浸水被害が想定されるため、山間部に位置する「道の駅」には、県外からの支援部隊の進出時の中継機能を果たすことが期待されており、四国広域道路啓開計画の進出ルートや代替ルート沿いの道の駅では整備の必要性がより高まっています。

これまでに、国道 381 号の「四万十とおわ」や国道 439 号の「土佐さめうら」では防災倉庫や非常用トイレ設備などの整備が完了しており、今後は、国道 194 号の「木の香」「633 美の里」、国道 197 号の「ゆすはら」、国道 321 号の「大月」などでも非常用電源設備などの整備を検討しており、あわせて道路の法面防災や耐震強化等を進めています。

【道の駅防災拠点化整備のイメージ】



(10) 道の駅の観光拠点化

訪日外国人をはじめ、全ての利用者の利便性向上に向けて、県が管理する道の駅においてトイレの洋式化、フリーWi-Fi環境整備、案内の多言語化などの整備を進めています。

【トイレの洋式化】



【フリーWi-Fi環境整備】



【案内の多言語化】



(11) 道路利用者に分かりやすい案内

訪日外国人をはじめ、全ての道路利用者に分かりやすい道案内を実現するため、高速道路ナンバリング標識の設置や交差点名標識に観光地の名称を表示する対策を進めています。

【高速道路ナンバリング標識の整備事例】



出典：国土交通省作成資料より

【交差点名標識の整備事例】



出典：国土交通省作成資料より

(12) 新しい移動手段の導入

過疎化の進行やマイカーの普及を背景に、中山間地域を中心として路線バスの撤退が進み、移動手段の確保が大きな課題となっています。こうした中、平成 18 年 10 月 1 日に「乗合事業の対象範囲の拡大」「自家用自動車による有償旅客運送制度の創設」の 2 つを柱に道路運送法が改正され、より柔軟で地域の実情に沿った交通手段の導入が可能となり、各市町村で積極的な取組が進められています。

【新しい移動手段の導入事例】

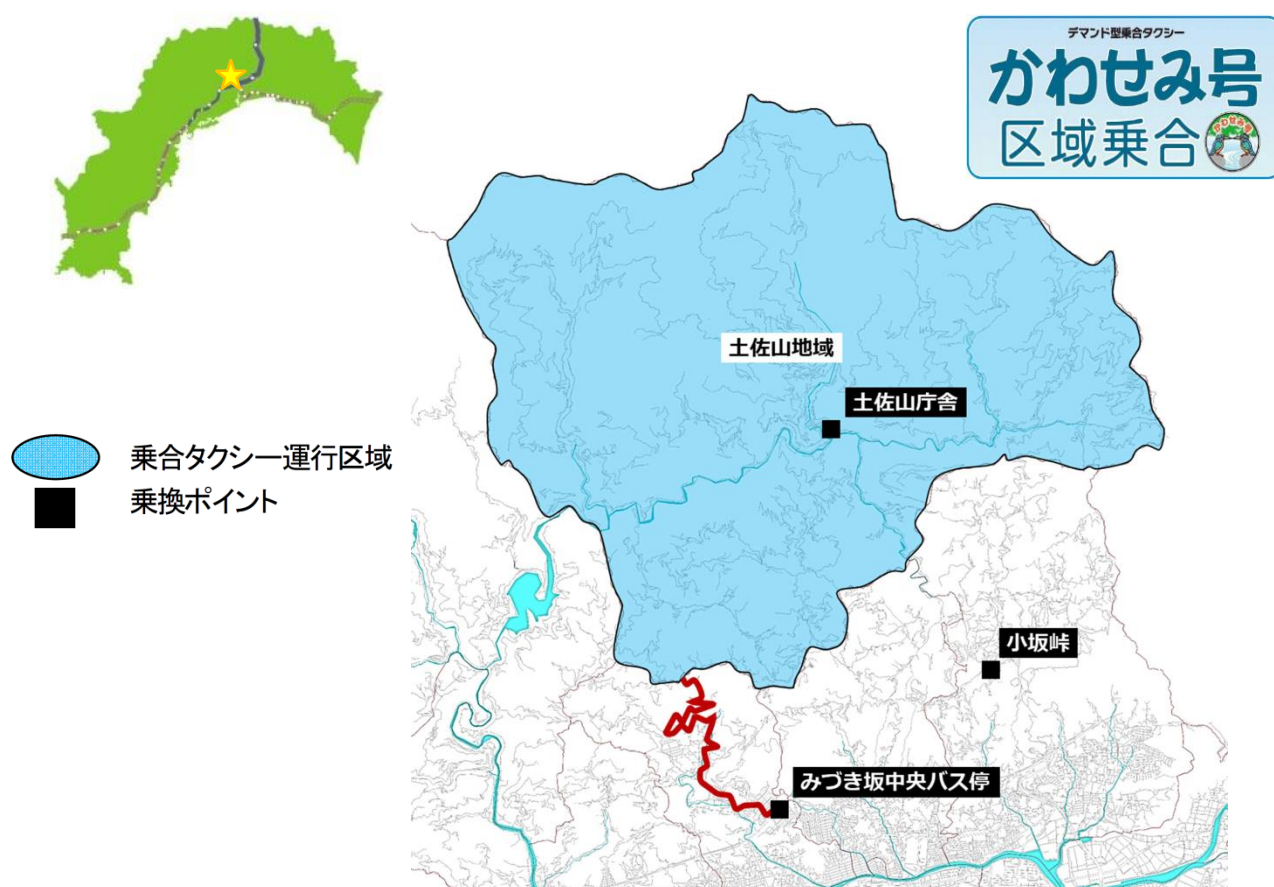
① デマンド型乗合タクシー・バス

路線バスを運行するには非効率的な極めて需要規模の小さい過疎地域において、デマンド型（利用者の予約に応じる形）の乗合タクシー・バスの導入を進めています。

② 公共交通空白地有償運送（旧過疎地有償運送）

路線バスなどの移動サービスが十分でない交通空白地において、生活に不可欠な交通手段を確保する観点から、交通事業者による対応が困難な場合に限り、NPO 法人等による自家用車を使用した有償運送を導入しています。

【新しい移動手段の導入事例：デマンド型乗合タクシー（高知市土佐山地域）】



出典：中山間地域における移動手段確保の手引き H30.3
（高知県中山間地域対策課）

(13) ETC2.0 によるビッグデータの活用

ETC2.0 により収集される速度や経路、急ブレーキなどの"ビッグデータ"を活用することにより、潜在的な危険箇所を特定し、効果的な交通安全対策を進めていきます。

高知東部自動車道の香南のいち IC については、利用交通が朝夕の通勤時間帯（特に夕方の南国市方面行き）に集中し、渋滞や事故が発生していたことから、ビッグデータを解析し急ブレーキ（減速）位置を特定することで、追突事故の防止や渋滞緩和の安全対策を実施しました。

【ビッグデータを活用した安全対策の事例（高知東部自動車道 香南のいち IC）】

■位置図



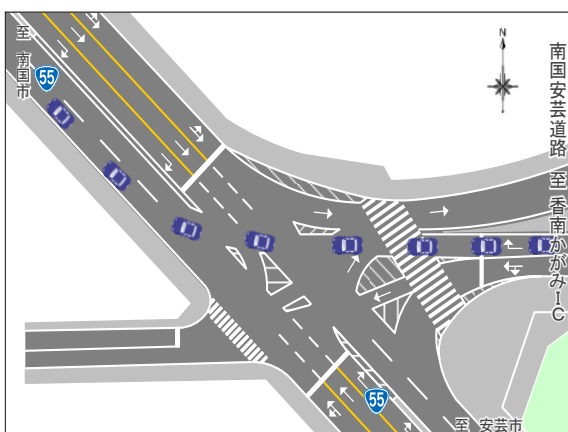
■写真① 車列が滞留する香南のいちIC向き車線



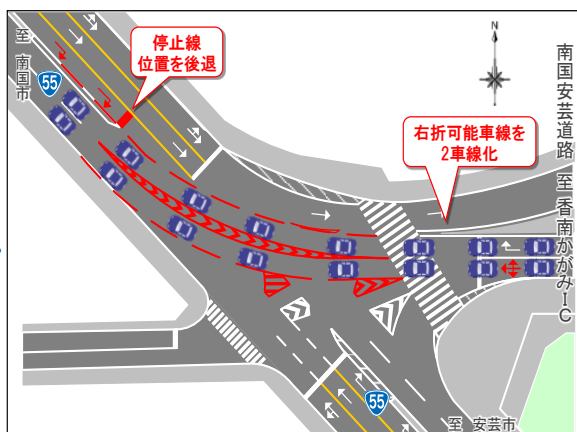
■交差点東側流入部（IC・OFFランプ部）付近における急減速発生位置と事故発生位置（ビッグデータを用いた分析）



■現在の車線運用（東側流入部の右折1車線）



■改良後の車線運用（東側流入部の右折2車線）



出典：国土交通省資料より

第3章 高知県の広域的な道路交通の基本方針

高知県では、高知県が目指す将来像「地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働くことができる高知県」の実現に向けて全力で取り組んでいます。

これまでに、取組の展開と道路をはじめとする社会資本の整備の進展に伴い、特産品の商圏の拡大や県外観光客の増加、防災力の向上など、様々な効果が現れています。

今後、高知県が目指す将来像を達成するためには、具体的な取組を力強く支える道路整備を着実に進め、効果をさらに高めるとともに持続させていく必要があります。

このため、本ビジョンにおいて、現在進めている四国8の字ネットワーク等の整備や中山間地域の実情に応じた道路整備、橋梁の耐震強化、法面の防災対策などの着実な整備も含めた、将来像の達成に向け必要となる道路整備等に関して、広域的な道路交通の基本方針を以下のとおり定めることにします。

なお、基本方針については、高知県の将来像を実現するための政策のうち、道路整備によって直接的な効果がもたらされる「経済の活性化」を物流、人流の視点から細分し、「中山間対策の充実・強化」、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」についての視点を追加し、国土交通省の通知に基づき「広域道路ネットワーク」、「交通・防災拠点」、「ICT 交通マネジメント」の観点からまとめることにします。

■基本方針を定める項目について

- | | | |
|---------------------|---|-------------------------------|
| ◆経済の活性化 | → | 1. 産業振興に向けて生産性を高める |
| | → | 2. 観光振興に向けて利便性を高める |
| ◆中山間対策の充実・強化 | → | 3. 中山間地域の活力向上につなげる |
| ◆南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化 | → | 4. 自然災害への備えを高める
※豪雨災害等を含める |

1. 産業振興に向けて生産性を高める

①広域道路ネットワーク

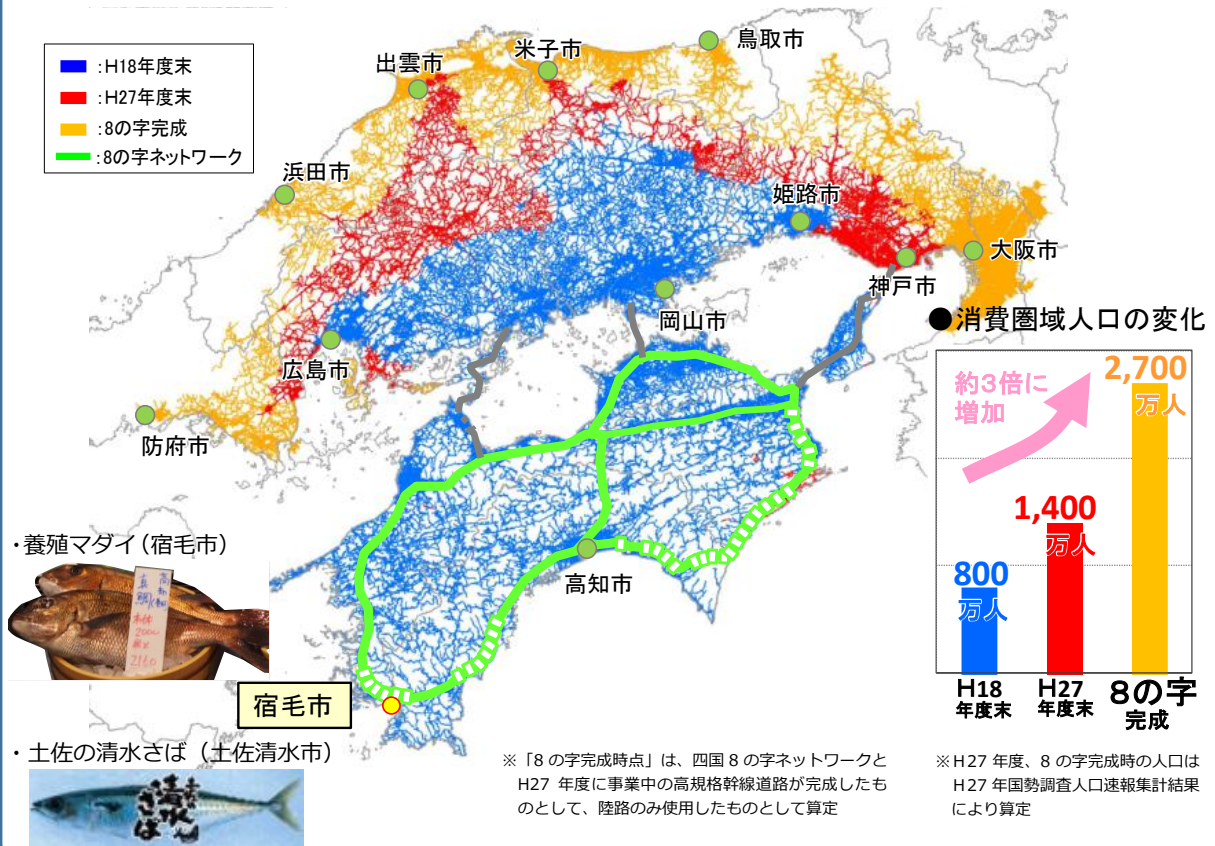
＜平常時の効率的で安定的な物流の確保、災害時の物流の途絶や広域迂回の回避に向けて＞

- ・ 県外の都市（中心都市などの規模が大きい消費地）や国際的な物流拠点（空港、港湾）と県内のそれぞれの地域における産業の拠点的な施設（工場や加工施設など）や物流施設（倉庫や集出荷場など）間のダブルネットワークの確保にもつながる高速道路等の整備を進めます。
- ・ 県内のそれぞれの地域における産業の集積エリアや物流施設と高速道路等のアクセス向上に資する道路整備を進めます。
- ・ 市街地中心部の迂回による渋滞の緩和や交通事故の抑止に資する道路整備を進めます。
- ・ 県内のそれぞれの地域における産業の集積エリアや物流拠点、特産物の産地、主要な交通結節点相互の連携を高める道路整備を進めます。

【四国8の字ネットワークの整備効果】

■高速道路の整備による宿毛市からの消費圏域（6時間圏域）の拡大

高速道路の整備に伴い、養殖業が盛んな宿毛市から車で6時間以内に到達できるエリアが拡大し、近畿地方の大消費地に、より鮮度が高い状態で鮮魚を届けることが可能となります。



②交通・防災拠点

- ・ 県外出荷や輸出の拡大等を支える港湾、漁港の機能向上や企業進出の受け皿となる新たな工業団地の整備に取り組みます。
- ・ 空港のターミナル整備等の検討を進めるとともに、鉄道駅等の交通結節の機能を有する施設において、鉄道、軌道、高速バス等の公共交通やレンタカー、カーシェアリング、レンタサイクルなどの連携強化によるビジネス利用客の利便性の向上に取り組みます。
- ・ 県外への流通コストを抑え産業振興を後押しするため、大型車の自動運転や連結・隊列トラックなど、新技術を導入するための道路環境の整備に努めます。

【高知港における物流機能向上に向けた構想】

■ 高知港三里地区国際物流ターミナル整備事業

本ターミナルを整備することにより、貨物需要の増大等に伴うバース及びストックヤード不足の解消及び船舶の大型化に対応することで輸送効率化を図り、合わせて耐震機能を備えた岸壁の整備により大規模地震時、海上からの緊急物資輸送等の輸送を確保します。

- ① 船舶大型化への対応
- ② 輸送の効率化
- ③ 震災時における緊急物資等の輸送確保



【高規格道路の延伸を見据えた工業団地の整備】

■ (仮称) 南国日章工業団地の整備

高知龍馬空港や高知東部自動車道の近隣に工業団地の整備を進めています。



開発面積：約 16.1ha
分譲面積：約 11.5ha
区画数：6区画(予定)
対象業種：製造業、流通業(予定)



※整備イメージ(高知県企業立地課)

③ ICT 交通マネジメント

- ・ ICT や AI 等を活用した迅速で正確な道路情報を利用して、物流などに係る渋滞や交通事故の発生を防ぐとともに、効率的に荷物を運ぶことができるよう、自動運転の社会実装を見据えながら、高度な道路管理に関する情報の提供に向けて、産学に協力をいただきながら取組を進めます。

期待される
主な効果

生産性の向上による県外や海外への販路拡大(県外出荷、輸出の増加)

2. 観光振興に向けて利便性を高める

①広域道路ネットワーク

＜県外・訪日外国人観光客の旅行形態に関わらない安全で快適な移動の確保に向けて＞

- ・ 県外の中心都市等と県内の拠点都市や本県の魅力を存分に味わえる歴史や、自然・体験型の観光拠点間との移動時間の短縮や定時制の向上が図られる高速道路等の整備を進めます。
- ・ 県内に点在する主要な観光地へ至る道路の整備を進めるとともに、クルーズ客船の寄港地や鉄道駅等へのアクセス向上を図ります。
- ・ 道の駅における案内機能などの機能充実に取り組みます。
- ・ 中山間地域の自然・体験型観光地への誘客に向けた道路などのインフラ整備に取り組みます。
- ・ 多客期における渋滞情報などをリアルタイムで観光客にプッシュ型で通知できる「Society5.0」の実現を目指します。
- ・ インバウンドにも対応する交通看板の整備を進めます。

②交通・防災拠点

- ・ 訪日外国人観光客をはじめとする観光客の誘致拡大に向け、観光拠点の受け入れ態勢の強化や磨き上げに取り組みます。
- ・ 県外観光客や訪日外国人観光客の誘客拡大を支える空港のターミナル整備等の検討が進められています。
- ・ 鉄道駅等の交通結節の機能を有する施設において、鉄道、軌道、高速バス等の公共交通やレンタカー、カーシェアリング、レンタサイクルなどの連携強化に取り組みます。
- ・ 特に、深刻化するバスのドライバー不足の中においても路線バス利用者へのサービスの向上を目指し、公共交通の結節点の整備等、より効率的で定時性の高い路線バスの運行を目指した取組を進めます。
- ・ 移動手段の確保に向けた、自動運転等新技術の導入に必要な道路環境の整備に努めます。

【越知町における自然体験型観光施設の整備】

●日本一の清流「仁淀川」でのアウトドアブランドと連携したキャンプ場の整備



ラフティング体験

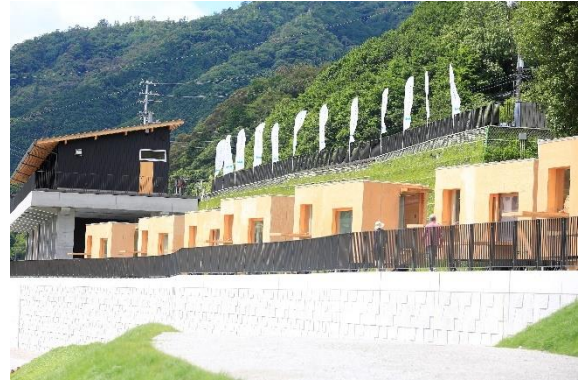
① スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド
(2018. 4. 22 オープン)



▲仁淀川に面したキャンプ場ではラフティングの体験も可能

② スノーピークかわの駅おち

- ・施設整備と自然体験メニューの充実により機能強化を図る



【室戸ユネスコ世界ジオパークにおける訪日外国人観光客の受入体制の強化】

クルーズ客船のオプションツアーにも組み込まれている室戸ユネスコ世界ジオパークでは、外国人観光客の受入体制を強化するため取り組んでいます。

- ・多言語表記による解説看板の設置やパンフレットの作成
- ・専門的な英語にも対応可能な観光ガイドの育成
- ・ホームページの英語表記



【高知新港における訪日外国人観光客の受入体制の強化等】

■ 高知新港客船ターミナル整備

近年、増加しているクルーズ客船の利用客の利便性の向上を目指し、入出国・税関・検疫業務や観光案内、物販を行うことができる客船ターミナルを整備しました。

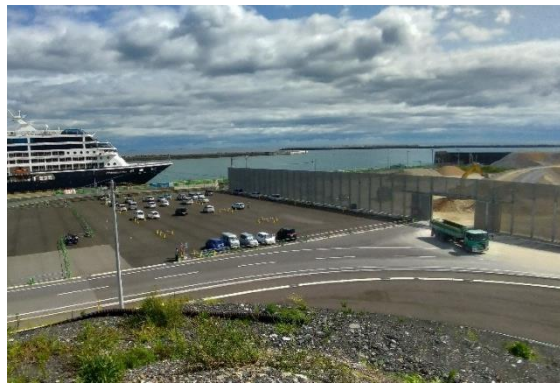


▲客船ターミナル

■ 高知新港における物流機能とクルーズ観光の共存に向けた整備

高知新港ではコンテナや石灰石などの取扱量が増加するなど、物流拠点としての重要な役割を担っているほか、近年、クルーズ船の寄港回数の増加により人流拠点としての重要性も高まっています。

このため、物流機能とクルーズ観光の共存を目指した、港内道路等の施設整備を進めています。



▲整備が進む高知新港の様子（H30.12）

③ICT 交通マネジメント

ICT や AI 等を活用した迅速で正確な道路情報を利用して、観光客が安全かつ快適に目的地まで移動できるよう、自動運転や MaaS の社会実装を見据え、観光施設や観光イベント等との連携も視野に入れ、高度な道路管理に関する情報の提供に向けて、産学に協力をいただきながら取組を進めます。

期待される
主な効果

移動の安全性や快適性の向上による観光客の増加や訪問エリアの拡大

3. 中山間地域の活力向上につなげる

①広域道路ネットワーク

＜中山間地域における資源の活用促進や安心なくらしの確保に向けて＞

- ・ 農産品や原木、鉱石などの円滑な出荷、点在する観光地の快適な周遊など、中山間地域が有する資源の活用促進に資する中山間地域を横断的に連絡する道路整備を進めます。
- ・ 中山間地域に集中する雨量の事前通行規制の緩和や解除に向けた道路整備を進めます。
- ・ 中山間地域と仕事場や買い物の拠点間の日々の安全な移動を確保するための道路整備を進めます。

②交通・防災拠点

- ・ 中山間地域に暮らす誰もが安心して生活を営んでいくために、道の駅などの中山間地域の拠点を活用した交通機関の連携による移動手段の確保を進めます。

【北川村における効率的な生産を目指した新たなゆず農地の整備】

■農地中間管理機構関連農地整備事業「北川モデル」

北川村では、主要産物である「ゆず」農家所得の向上、経営の安定などを目指し、国の補助事業を活用して平成30年度から4年間で5.4ヘクタルのゆず農地の区画整理を計画しています。



▲山間部に点在するユズ園地



▲EU への輸出用のユズ園地



▲ユズの出荷状況

【道の駅田野駅屋における公共交通の連携強化】

田野町では、周辺市町村を結ぶ路線バスと、町内のほぼ全域を運行しているコミュニティバスの連携を図ることで、通勤及び通学、通院などに必要な移動手段を確保しています。

利用者の利便性の向上を図るため、町の中心部に位置する道の駅を交通拠点として活用しています。



▲国道55号を利用して周辺市町村を結ぶ路線バスの利用状況



▲田野町内を運行しているコミュニティバス

③ICT 交通マネジメント

- ・ 中山間地域に住まわれている高齢者や中山間地域を訪れる観光客、福祉事業者が ICT や AI 等を活用した迅速で正確な道路情報を利用して、安全で快適に目的地まで移動できるよう、自動運転の社会実装を見据え、高度な道路管理に関する情報の提供に向けて、産学に協力をいただきながら取組を進めます。
- ・ 公共交通も含めた利用者の安全性や利便性の向上を図るため、道路施設の損傷や斜面崩壊等の予兆を把握し事前に安全を確保するとともに、災害の発生を迅速に把握し、最適な迂回ルートを選定等に必要な情報の提供に向けて取組を進めます。
- ・ 公共交通事業者等と連携し、交通に関するデータを活用した道路管理の機能強化に取り組みます。

期待される
主な効果

日々の道路利用の安全性、快適性の向上による中山間地域の振興

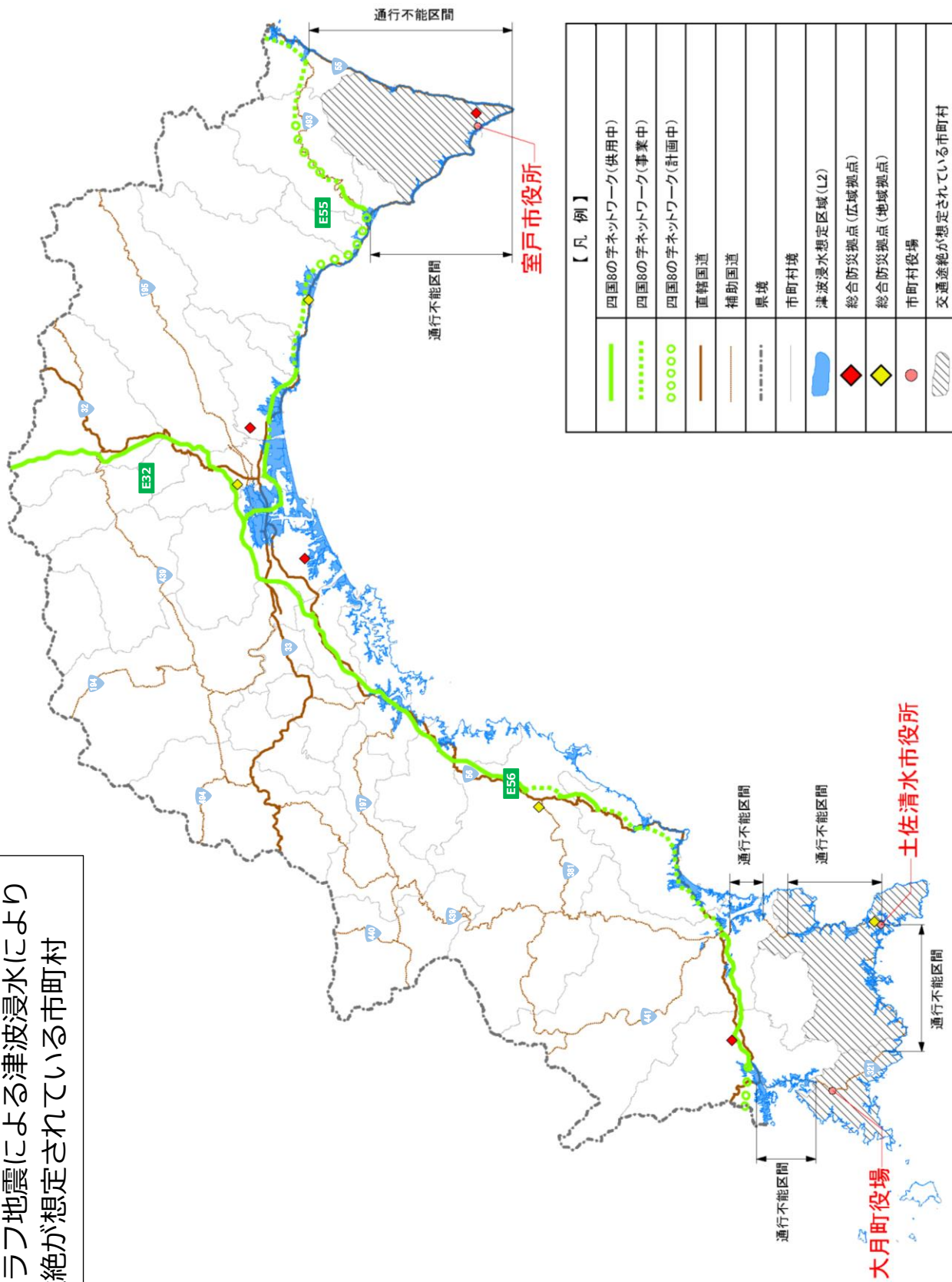
4. 自然災害への備えを高める

①広域道路ネットワーク

＜地域防災力の向上に向けて＞

- ・ 南海トラフ地震はもとより豪雨災害などの自然災害が起こっても、被災直後から速やかに県の総合防災拠点などへ県外からの進出部隊を受け入れ、早期に経済活動が再開できる道路整備を進めます。
- ・ 南海トラフ地震発生直後から、全ての市町村へ円滑に至ることができるよう、揺れや津波浸水の影響を受けず、たとえ被災しても速やかに交通を確保できる道路整備を進めます。
- ・ 被害を軽減する社会資本の整備状況や新たに得られる知見を踏まえながら、県の総合防災拠点から高知県道路啓開計画に位置付けられた避難所や医療施設などに、確実に円滑に物資を輸送できる道路整備を進めます。

南海トラフ地震による津波浸水により
交通途絶が想定されている市町村



【 凡 例 】	
	四国8の字ネットワーク(供用中)
	四国8の字ネットワーク(事業中)
	四国8の字ネットワーク(計画)
	直轄国道
	補助国道
	県境
	市町村境
	津波浸水想定区域(L2)
	総合防災拠点(広域拠点)
	総合防災拠点(地域拠点)
	市町村役場
	交通途絶が想定されている市町村

※四国8の字ネットワーク:R3.2末時点

【高知東部自動車道（高知南国道路）高知 I C～高知南 I Cの整備による効果】

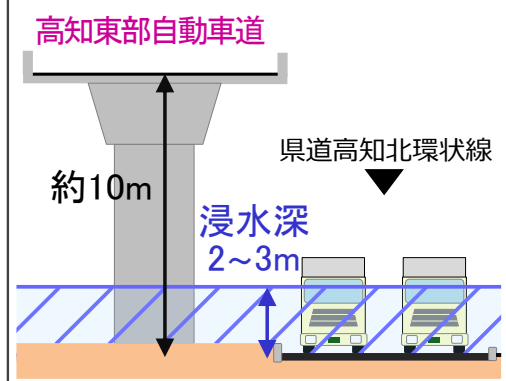
■ 津波浸水の影響を受けないルートを確認

高知東部自動車道（高知南国道路）高知 I C～高知南 I C間の整備により、津波浸水の影響を受けないルートを確認することで、物資の円滑な輸送や医療機関への円滑な搬送等、防災上重要な拠点への円滑なアクセスが可能となります。



■ 浸水想定イメージ

（高知中央IC付近）



②交通・防災拠点

- ・ 道の駅の防災機能の向上に取り組みます。
- ・ 高知県道路啓開計画に位置付けられている防災拠点等について、南海トラフ地震の発生による津波浸水の影響を受けない高台への移転や今後の訓練によって見出される課題の解決に必要な施設整備を進めます。

■ 高知県道路啓開計画に位置付けられた防災拠点

高知県道路啓開計画では、県外からの応援部隊や物資を受け入れるため地域ごとに配置している県の総合防災拠点をはじめ、広域の防災拠点を 40 箇所選定しています。

また、助かった命をつなぐための地域ごとの拠点として地域の防災拠点を選定し、3つの種別に整理しています。地域の防災拠点 A（命を守る）として、地域の避難所や救護病院・福祉施設等を 355 箇所選定しており、これ以外にも地域の防災拠点 B（命をつなぐ）として 1,133 箇所、地域の防災拠点 C（復旧）として 859 箇所を選定しており、広域の防災拠点とあわせて 2,387 箇所の防災拠点を選定しています。

【高知県道路啓開計画における防災拠点】

広域の 防災拠点	地域の防災拠点			合計
	A（命を守る）	B（命をつなぐ）	C（復旧）	
40 箇所	355 箇所	1,133 箇所	859 箇所	2,387 箇所

●広域の防災拠点（40箇所）一覧

拠点名	市町村
室戸広域公園	室戸市
安芸総合庁舎	安芸市
安芸市総合運動場	安芸市
あき総合病院	安芸市
田野病院	田野町
中央東土木事務所	南国市
高知大学医学部	南国市
高知龍馬空港	南国市
JA 高知病院	南国市
高知大学医学部附属病院	南国市
株式会社アステイス	南国市
高知県立青少年センター	香南市
陸上自衛隊高知駐屯地	香南市
野市中央病院	香南市
高知県庁本庁舎	高知市
春野総合運動公園	高知市
高知県警察本部	高知市
近森病院	高知市
高知医療センター	高知市
高知赤十字病院	高知市

拠点名	市町村
国立病院機構高知病院	高知市
海里マリン病院	高知市
高知高須病院	高知市
島津病院	高知市
中沢氏家業株式会社	高知市
土佐市民病院	土佐市
伊野合同庁舎	いの町
仁淀病院	いの町
高北病院	佐川町
須崎第二総合庁舎	須崎市
須崎くろしお病院	須崎市
高陵病院	須崎市
四万十緑林公園（窪川高校含む）	四万十町
くぼかわ病院	四万十町
幡多土木事務所	四万十市
四万十市民病院	四万十市
宿毛市総合運動公園	宿毛市
幡多けんみん病院	宿毛市
土佐清水総合公園	土佐清水市
渭南病院	土佐清水市

第3章 高知県の広域的な道路交通の基本方針

●地域の防災拠点 A（355 箇所）一覧

拠点名	市町村
室戸市役所	室戸市
室戸警察署	室戸市
室戸市消防本部	室戸市
羽根中学校	室戸市
吉良川小学校	室戸市
佐喜浜保育所	室戸市
吉良川防災コミュニティセンター	室戸市
佐喜浜防災コミュニティセンター	室戸市
三津防災コミュニティセンター	室戸市
元防災コミュニティセンター	室戸市
室戸市保健福祉センター	室戸市
東洋町役場、東洋町町民会館	東洋町
名留川小学校	東洋町
野根中学校	東洋町
甲浦中学校	東洋町
東洋町地域防災センター	東洋町
野根地区防災活動拠点施設	東洋町
海南病院	東洋町
甲浦小学校	東洋町
野根地区公民館	東洋町
東洋町防災拠点施設 (ヘリポート・備蓄倉庫)	東洋町
甲浦東津波避難広場、 甲浦東地区防災備蓄倉庫	東洋町
野根地区防災備蓄倉庫	東洋町
安芸市役所	安芸市
安芸警察署	安芸市
安芸市防災センター	安芸市
森澤病院	安芸市
安芸第一小学校	安芸市
土居小学校	安芸市
安芸広域公園	安芸市
防災拠点施設	奈半利町
奈半利町役場	奈半利町
加領郷小学校	奈半利町
愛光園	奈半利町
奈半利港	奈半利町
ケアセンター中芸	奈半利町

拠点名	市町村
奈半利港緑地公園グランド	奈半利町
田野町役場	田野町
中芸広域連合消防本部	田野町
田野中学校	田野町
中芸高校	田野町
田野町ふれあいセンター	田野町
田野町保健センター	田野町
安田町役場	安田町
安田町文化センター	安田町
安田中学校	安田町
中芸広域体育館	安田町
安田町津波避難タワー1号	安田町
安田町津波避難タワー3号	安田町
北川村役場	北川村
北川村総合保健福祉センター	北川村
馬路村役場	馬路村
馬路小学校	馬路村
魚梁瀬小・中学校	馬路村
馬路中学校	馬路村
魚梁瀬多目的施設	馬路村
馬路村就業改善センター	馬路村
馬路診療所	馬路村
丸山公園	馬路村
芸西村役場	芸西村
西分防災拠点施設	芸西村
和食防災拠点施設	芸西村
馬ノ上防災拠点施設	芸西村
芸西病院	芸西村
芸西村民会館	芸西村
芸西オルソクリニック	芸西村
馬ノ上防災倉庫	芸西村
南国市上下水道局	南国市
南国市保健福祉センター	南国市
南国市役所	南国市
高知県警察機動隊	南国市
南国警察署	南国市
南国市消防本部	南国市
南国市消防本部北部出張所	南国市

拠点名	市町村
南国市消防本部北部出張所	南国市
高知大学農学部	南国市
高知工業高等専門学校	南国市
大篠小学校	南国市
久礼田小学校	南国市
大篠公民館	南国市
藤原病院	南国市
南国厚生病院	南国市
香長中学校	南国市
鳶ヶ池中学校	南国市
奈路ヘリポート	南国市
三和憩いの広場	南国市
吾岡山文化の森公園	南国市
南国市立スポーツセンター	南国市
立田防災備蓄倉庫	南国市
香南市役所香我美庁舎	香南市
香南市役所本庁舎	香南市
香南市役所吉川庁舎	香南市
香南警察署	香南市
香南市消防本部	香南市
吉川防災コミュニティセンター	香南市
のいちふれあい広場	香南市
夜須運動広場	香南市
野市総合体育館	香南市
のいちふれあいセンター	香南市
香南市防災備蓄倉庫	香南市
吉川総合センター	香南市
夜須消防団（夜須川）	香南市
野市消防団屯所	香南市
香美市役所物部支所	香美市
香美市役所本庁舎	香美市
香美市役所香北支所	香美市
土佐山田学校給食センター	香美市
高知工科大学	香美市
鏡野公園	香美市
香美警察署	香美市

拠点名	市町村
香美市消防本部	香美市
香美市消防本部香北分署	香美市
山田高等学校	香美市
岩河整形外科	香美市
前田メディカルクリニック	香美市
香北病院、香北病院駐車場	香美市
大柘診療所	香美市
山田小学校	香美市
本山町役場	本山町
本山町保健福祉センター	本山町
本山町社会福祉会館	本山町
高知東警察署本山警察庁舎	本山町
嶺北広域行政事務組合消防本部	本山町
本山町プラチナセンター	本山町
本山町立国保嶺北中央病院	本山町
本山町汗見川へき地診療所	本山町
嶺北高校グラウンド	本山町
大豊町総合ふれあいセンター	大豊町
大豊町役場	大豊町
嶺北消防本部大豊分署	大豊町
大杉中央病院	大豊町
大田口医院	大豊町
高橋医院	大豊町
大杉農村広場	大豊町
土佐町役場	土佐町
田井医院	土佐町
早明浦病院	土佐町
大川村役場	大川村
山村開発センター	大川村
国民健康保険小松診療所	大川村
自然教育センター白滝	大川村
高知市役所鏡庁舎	高知市
高知市役所土佐山庁舎	高知市
高知市役所春野庁舎	高知市
高知市役所本庁舎	高知市
高知市役所たかじょう庁舎	高知市

第3章 高知県の広域的な道路交通の基本方針

拠点名	市町村
高知市役所南別館	高知市
高知南警察署	高知市
高知東警察署	高知市
高知警察署	高知市
中消防署旭出張所	高知市
東消防署	高知市
南消防署	高知市
東消防署東部出張所	高知市
東消防署三里出張所	高知市
南消防署西出張所	高知市
高知市消防局 (総合あんしんセンター)	高知市
南消防署長浜出張所	高知市
南消防署春野出張所	高知市
中消防署	高知市
中消防署江ノ口出張所	高知市
消防団本部高知街分団合同庁舎	高知市
高知商業高等学校	高知市
いずみの病院	高知市
図南病院	高知市
潮江高橋病院	高知市
三愛病院	高知市
高知厚生病院	高知市
高知生協病院	高知市
高知西病院	高知市
高知脳神経外科病院	高知市
永井病院	高知市
長浜病院	高知市
もみのき病院	高知市
リハビリテーション病院 すこやかな杜	高知市
愛宕病院	高知市
国吉病院	高知市
高知整形・脳外科病院	高知市
竹下病院	高知市
田中整形外科病院	高知市
平田病院	高知市
細木病院	高知市

拠点名	市町村
高知港	高知市
高知新港	高知市
東部総合運動場	高知市
総合運動場	高知市
旭中学校	高知市
高知学芸中学・高等学校	高知市
高知西高等学校	高知市
潮見台公園	高知市
高知インターチェンジ	高知市
潮見台二号公園	高知市
土佐高校向陽グラウンド	高知市
ヨネッツこうち・エコパーク宇賀	高知市
土佐市役所	土佐市
土佐警察署	土佐市
土佐市消防本部	土佐市
高岡第一小学校	土佐市
土佐市防災センター	土佐市
土佐公園	土佐市
土佐市防災備蓄倉庫	土佐市
いの町役場本庁舎	いの町
いの町役場吾北総合支所	いの町
いの町役場本川総合支所	いの町
土佐警察署いの警察庁舎	いの町
仁淀消防組合吾北分署	いの町
仁淀消防組合消防本部	いの町
すこやかセンター伊野	いの町
土佐和紙工芸村	いの町
道の駅 木の香	いの町
いの町総合運動公園	いの町
日高村役場	日高村
仁淀消防組合日高分署	日高村
日高村保健センター	日高村
日高村総合運動公園	日高村
日高村第一備蓄倉庫（物資倉庫）	日高村
日高村第二備蓄倉庫（物資倉庫）	日高村
日高村高齢者健康センター	日高村
仁淀川町役場（池川総合支所）、 池川コミュニティセンター	仁淀川町

拠点名	市町村
仁淀川町役場名野川出張所	仁淀川町
仁淀川町役場仁淀総合支所	仁淀川町
仁淀川町役場本庁舎	仁淀川町
仁淀川町役場仁淀総合支所長者出張所、 長者複合集会施設	仁淀川町
高吾北消防本部仁淀川分署	仁淀川町
旧吾川中学校	仁淀川町
安部病院	仁淀川町
大崎診療所	仁淀川町
西村医院	仁淀川町
別府小学校	仁淀川町
池川小学校	仁淀川町
旧大崎小学校体育館	仁淀川町
佐川町役場	佐川町
佐川警察署	佐川町
桜座	佐川町
佐川町健康福祉センター 「かわせみ」	佐川町
霧生関防災拠点施設	佐川町
越知町役場	越知町
高吾北広域町村事務組合消防本部	越知町
越知町民会館、越知町備蓄倉庫	越知町
北島病院	越知町
岡本内科	越知町
山崎外科整形外科病院	越知町
前田病院	越知町
山崎病院	越知町
若槻産婦人科クリニック	越知町
越知町保健福祉センター	越知町
越知町民総合運動場	越知町
須崎市役所	須崎市
須崎市水道課庁舎	須崎市
須崎警察署	須崎市
高幡消防組合消防本部	須崎市
須崎市総合保健福祉センター	須崎市
朝ヶ丘中学校体育館	須崎市
須崎市立スポーツセンター	須崎市
(有) 葉山運送 倉庫	須崎市
(有) 松浦運送 倉庫	須崎市

拠点名	市町村
JA とさくろしお吾桑支所	須崎市
JA とさくろしお上分支所	須崎市
大野見保健センター	中土佐町
中土佐町役場大野見庁舎	中土佐町
中土佐町役場中土佐庁舎	中土佐町
中土佐町役場上ノ加江支所	中土佐町
高幡消防組合中土佐分署	中土佐町
中土佐町立上ノ加江小学校	中土佐町
なかとさ病院	中土佐町
久礼中学校	中土佐町
大野見診療所	中土佐町
矢井賀資機材倉庫	中土佐町
梶原町総合庁舎	梶原町
梶原学園	梶原町
地域活力センター	梶原町
保健福祉支援センター	梶原町
梶原病院	梶原町
大越グラウンド・体育館	梶原町
道の駅ゆすはら	梶原町
津野町役場西庁舎、 西庁舎福祉交流センター	津野町
津野町役場本庁舎、 津野町役場本庁舎防災倉庫	津野町
高幡消防組合津野山分署	津野町
高幡消防組合津野山分署葉山出張所	津野町
四万十ふれあいセンター	津野町
杉ノ川診療所	津野町
つのやまクリニック	津野町
姫野々診療所	津野町
鳴川グラウンド	津野町
四万十町十和地域振興局	四万十町
四万十町大正地域振興局	四万十町
四万十町役場	四万十町
窪川警察署	四万十町
四万十清流消防署西分署	四万十町
四万十清流消防署	四万十町
興津防災拠点施設	四万十町
志和防災活動拠点施設	四万十町

第3章 高知県の広域的な道路交通の基本方針

拠点名	市町村
医療法人高幡会大西病院	四万十町
四万十町国保健康保険大正診療所	四万十町
四万十町国民健康保険十和診療所	四万十町
農村環境改善センター	四万十町
道の駅あぐり窪川	四万十町
道の駅とおわ	四万十町
こいのぼり公園	四万十町
四万十町窪川運動公園	四万十町
四万十市役所西土佐総合支所	四万十市
四万十市役所本庁舎	四万十市
防災センター	四万十市
中村警察署	四万十市
四万十消防署西土佐分署	四万十市
幡多中央消防組合消防本部	四万十市
具同体育センター	四万十市
西土佐診療所	四万十市
森下病院	四万十市
竹本病院	四万十市
中村病院	四万十市
木俣病院	四万十市
四万十市立健康管理センター	四万十市
安並運動公園	四万十市
西土佐地区運動場	四万十市
八反原公園	四万十市
岡の下公園	四万十市
岩崎公園	四万十市
黒潮町保健センター	黒潮町
黒潮町役場佐賀支所	黒潮町
黒潮町役場本庁舎	黒潮町
黒潮消防署	黒潮町
国保拳の川診療所	黒潮町
黒潮町立大方中学校	黒潮町
幡多青少年の家	黒潮町
黒潮町立伊与喜小学校	黒潮町
黒潮町立三浦小学校	黒潮町
宿毛市役所	宿毛市
宿毛警察署	宿毛市

拠点名	市町村
幡多西部消防組合消防本部	宿毛市
沖の島へき地診療所	宿毛市
聖ヶ丘病院	宿毛市
大井田病院	宿毛市
筒井病院	宿毛市
宿毛湾港新港	宿毛市
小深浦高台（予定）	宿毛市
西地区防災コミュニティセンター	宿毛市
大月町役場	大月町
老人ホーム大月荘	大月町
大月病院	大月町
旧弘見中学校グラウンド	大月町
ふれあいパーク大月	大月町
大月町農村環境改善センター	大月町
三原村役場	三原村
三原村国民健康保険診療所	三原村
三原村ふれあい広場	三原村
土佐清水市役所	土佐清水市
中村警察署清水警察庁舎	土佐清水市
土佐清水市消防本部	土佐清水市
下ノ加江地区防災コミュニティセンター	土佐清水市
松谷病院、ケアハウスひだまり 介護老人保健施設サンケアしみず	土佐清水市
足摺病院	土佐清水市
平ノ段区長場	土佐清水市
下川口地区防災コミュニティセンター	土佐清水市
清水中学校	土佐清水市
足摺岬小学校、足摺岬小学校体育館	土佐清水市

③ ICT 交通マネジメント

- ・ ICT や AI 等を活用した迅速で正確な道路情報を利用して、災害発生時に、住民や道路利用者が安全に避難や迂回でき、また救援部隊やライフライン業者が円滑に被災地に進出することができるよう、高度な道路管理に関する情報の提供に向けて、産学に協力をいただきながら取組を進めます。
- ・ 自然災害発生後に、道路啓開の早期完了やインフラの早期復旧等を図るため、様々な行政機関等が収集した情報の迅速な活用、提供、分析が可能な体制の構築に取り組めます。
- ・ 南海トラフ海底地震津波観測網の構築等を踏まえた、道路利用者を津波浸水や土砂崩れ等の影響を受けない安全な避難場所へ迅速に誘導するための情報提供に向けて取り組めます。

期待される
主な効果

地域と防災拠点の連携強化による地域防災力の向上